

仙台市博物館年報

第 50・51 合併号

令和 4・5 年度

目 次

ごあいさつ

1. 大規模改修工事の実施と成果	2
2. 展示	7
常設展示／特別展・企画展	
3. 資料の収集保管	13
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／収蔵指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
4. 教育・普及	19
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携(SMMA・歴ネット)／ 再開館に向けての広報活動／広報・情報発信／刊行物・グッズ等	
5. 調査・研究	38
6. 仙台市史活用推進事業	44
7. ボランティア	49
8. 友の会	51
9. 組織・予算・運営	52
組織・事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
10. 利用状況	56
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況	
11. 条例・規則・要綱等	57
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／仙台市博物館資料 取扱要綱／仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	66

ごあいさつ

大規模改修工事に伴う令和3年10月から2年半にわたる休館を経て、本年4月2日に再開館いたしました。長期間にわたり利用者の皆様には大変なご不便をおかけしましたが、おかげさまで、再開館記念企画第1弾として5月26日まで開催した企画展「こりゃめでたい」の開催期間中、当初の見込みを超える30,737人の方にご来場いただくことができました。これは現在の新館が開館した昭和61年以降、これまでの企画展の来館者数としては10番目に多い数となり、当館の再開館をお待ちいただいた皆様のお気持ちの表れであると、心より御礼申し上げます。

さて、令和4年度と令和5年度は大規模改修工事期間中のため、全期間休館となり展覧会の開催がなかったことから、今回、仙台市博物館年報の節目となる第50号（令和4年度）と第51号（令和5年度）を合併版として発行することになりました。

この度の大規模改修工事につきましては、施設の老朽化に伴う長寿命化対策と併せ、一部展示室のリニューアルを行いました。昭和58年度から60年度までの新館建て替えによる3年間の休館以来の長期間にわたる休館となりましたが、各種工事は令和5年9月末をもって完了し、その後、半年間の枯らし（館内環境整備）期間を経て、当初計画どおり、令和6年度当初から再開館できたことは、工事事業者や庁内関係部署等、関係の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

休館中、博物館の機能は停止しているのではとの思いを持たれた方は少なくないと思いますが、休館中だからこそできることは何かを主眼に、他館での展覧会の開催や学校や市民センターへの出前授業、教育普及用動画制作、収蔵資料データベース公開等の活動を展開してまいりました。これらの新たな取り組みを通じて得た知識や経験は、再開館後の館運営にとって大きな糧になっています。

70年ぶりに大改正され、昨年4月に施行された博物館法の趣旨にあるとおり、近年、博物館に求められる役割や機能は多様化・高度化し、これまでの社会教育施設としての小さな枠に留まらず、いかに地域の活力向上に寄与できるかが今後一層求められてまいります。博物館を巡る情勢が大きく変化する中、大規模改修工事を終えて再開館に至った当館は、昭和36年の開館からの旧館時代を第1ステージ、昭和61年の新館開館以降を第2ステージとすると、新たな第3ステージに立ったと考えております。

開館以来、63年間培ってきたノウハウや当館ならではの強みを大切に活かしつつも、時代の変化を適時的確に捉え、お客様のニーズに沿ったサービスをいかに提供すべきか常に意識しながら、広く皆様の期待に応え得る、誰もが楽しめる開かれた博物館を構築してまいります。引き続き一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仙台市博物館
館長 今井 吏

1. 大規模改修工事の実施と成果

昭和61年3月開館の現施設（新館）であるが、経年による設備の老朽化が目立ち、とりわけ資料の保管、展示の要と言える空調機は、近年、経年劣化による不具合が生じるなど、館の安定的な運営を維持する上で、設備改修は喫緊の課題となっていた。

これを受け、仙台市公共施設総合マネジメントプランによる施設の長寿命化対策及び展示室の機能向上を目的に、令和3年10月から2年半の間全館休館し、大規模改修工事を実施した。

加えて、令和4年3月16日に発生した福島県沖地震による展示ケースの破損が明らかになったため、大規模改修工事と並行して、緊急に実施した補修工事や、再開館に向けた新たな展示手法の導入、また、収蔵庫改修に伴う資料の保存作業（一時移動・環境確認等）についても、ここに記載する。

概要

1. 休館期間

令和3年10月1日～令和6年3月31日

（工事は令和5年9月30日で終了、その後6カ月間は枯らし期間）

2. 主な工事内容

(1) 長寿命化工事

- 建築：外壁洗浄、内装、トイレ、乳児休憩室等の改装
- 機械：空調設備、給排水衛生設備、防犯設備、消火設備、ガス設備等の更新
- 電気：館内照明のLED化、非常用自家発電機・避雷針・火災報知機等の更新
- その他：イベント広場等の外構補修

(2) 展示室リニューアル

- 高透過ガラスの導入
- 照明設備のLED化

工事の成果

1. 収蔵資料の保管環境の向上

(1) 空調設備の更新

各展示室・収蔵庫別に配備された空調機15台を一斉更新した。



空調機の温湿度を管理する自動制御機器

(2) 収蔵スペースの拡充

新館開館時（昭和61年）に約6万4千点だった収蔵資料が、現在は約10万点に増加したことから、容量の限界とともに、収蔵庫内の空気循環の悪化が懸念されていた。従来の資料室2室を収蔵庫に改装したほか、講習室を書庫に改装し収蔵庫内で保管の書籍を移動した。この結果、収蔵スペースは約70平方メートル増加した。



書庫Ⅱ（旧講習室）

(3) 収納棚の新設

収蔵庫Ⅳに設置された屏風収納用の木製三段棚は、最上段の棚の高さ2.5メートル以上と使いにくく、各棚に落下防止措置を施しにくい形状となっていた。そこで、木製三段棚を撤去し、新たに縦置き型の屏風用収納棚を設置した。



屏風用収納棚（26隻分）

2. 展示・鑑賞環境の向上

(1) 高透過ガラスの導入（企画展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ）

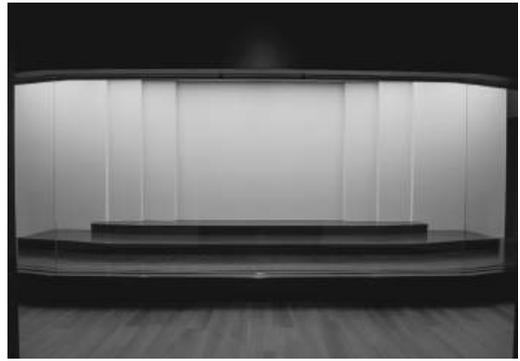
従来の展示ケースのガラスは、含有される酸化鉄の影響で緑がかって見えていたが、高透過ガラスは、酸化鉄の含有量を極力少なくすることで透明度を確保している。このため、資料をより正確な色で鑑賞することが可能となった。

企画展示室は、三方の壁に展示ケースがあり、合計すると58メートルになる。特別展等のメイン会場になるこの展示室に高透過ガラスを導入したことと、室内の照明をLED化したことで、展示資料がより美しく、忠実な色彩で見られるようになったほか、照明による様々な演出も可能となった。



企画展示室の壁付け展示ケース

テーマ展示室Ⅰ内、主に甲冑を展示する大型ケースは、ガラスの中央部に継ぎ目があったが、1枚ガラスを設置することにより継ぎ目がなくなり、柔軟に資料を配置しやすくなるとともに、より美しい展示が可能となった。



中央部の継ぎ目が解消

(2) 展示照明設備のLED化、機能向上

展示ケース内の照明設備をLED化することにより、紫外線や熱の発生を低減し、資料の劣化を抑制できるようになった。

また、操作用タブレットの導入により、資料の展示後にケースの外から照明の角度や色温度の調節ができるようになり、より美しく、効果的な展示の演出が可能となった。

3. 来館者アメニティの向上

(1) トイレの改装

すべてのトイレの手洗い場を節水と感染症対策に有効な自動水栓とした。

また、以前の車いす利用者用トイレを、より多目的に利用できるひろびろトイレとして機能を追加した。ベビーチェアの新設や、視覚に障害のある方も利用しやすいよう、触って場所を確認できる触知図の新設を行った。また、1階のひろびろトイレには、オストメイトの方が利用できる設備が備えられている。



(7) レストラン、ミュージアムショップのリニューアル

①レストラン

公募選定の結果、(株)モーツァルトが運営することとなった。地元食材を主に、季節や展覧会などに応じたメニューを展開する。新たにテラス席も設け、四季の景色を楽しみながらくつろげる。



②ミュージアムショップ

公募選定の結果、(株)オークコーポレーションが運営することとなった。仙台市博物館オリジナルグッズや展覧会図録、仙台市史などの販売も行う。



地震被害への対応・復旧

令和4年3月16日に福島県沖を震源として発生した地震の後、総合展示室と特集展示室の展示ケースに傾きやゆがみが確認された。ケースと躯体壁を接続していた金具類が一部破断しており、その原因として東日本大震災以後に度重なった余震や、令和3年2月13日にも発生した福島県沖を震源とする地震等による疲労が蓄積していたことが想定された。

対応としては、上記2室の展示ケースを全て解体し支持金具を増やすなど構造的な補強を行ったうえで、復旧した（施工：令和4年8～11月）。

新たな展示手法の導入

1. ハンズオン展示

総合展示室に触れることができる実物資料を用意し、体験型の展示を新たに取り入れた。



2. 音声ガイドの変更

常設展示室の従来の音声ガイドに代わり、スマートフォン、タブレット用の無料アプリ「ポケット学芸員」を館内ガイドとして利用できるよう、Wi-Fi環境の整備と貸出用タブレットの配備を行った。

3. 仙台領国絵図の部分図閲覧ケースの設置

総合展示室内の仙台領国絵図の展示手前に、部分図と説明文を閲覧できる計6段の引出式ケースを新設した。



資料の保存（一時移動・環境確認等）

大規模改修工事期間中の収蔵庫改修にあたっては、空調停止に伴い資料を収蔵庫から一時的に別の場所へ移動させる必要が生じた。そのため、6つの各収蔵庫から資料を運び出す作業を実施した。

第1工区（収蔵庫Ⅰ、Ⅱ）

※工期：令和4年4～6月

第2工区（収蔵庫Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ）

※工期：令和4年4～9月

また、各収蔵庫の改修終了後は、清掃と環境調査を行った上で、一時保管場所から元の収蔵庫へ資料を戻した。

1. 資料の状態確認、梱包、搬出

移動前に収蔵資料の状態確認と移動用リスト作成を行うとともに、温湿度変化の影響を低減し資料を安全に移動・保管するための梱包を行った。屏風や

歴史資料、工芸品といった資料群ごとに梱包し、順次収蔵庫から搬出した。また、取り扱いに注意が必要な資料や特に重量のある資料等については、美術品取扱専門業者とともに作業にあたった。

令和4年度は、前年度中に搬出が完了した第1工区（収蔵庫Ⅰ、Ⅱ）の収蔵庫改修が6月に終了した後、第2工区（収蔵庫Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ）の資料をスライドして移動、保管するとともに、第1工区で保管していた武器・武具等の一部資料のみ元の収蔵庫へ戻す作業を実施した。そのための資料梱包・移動に約1カ月間を要した。



資料を搬出した後の収蔵庫内

2. 収蔵庫の清掃、環境調査

各収蔵庫の工事終了後は、庫内の清掃および環境調査（温湿度測定、虫菌害・塵埃調査、空気環境調査等）を実施した。

3. 資料の搬入、開梱、再収納

第2工区において全ての収蔵庫の改修が終了した令和4年10月中旬から、清掃及び環境調査等が完了した収蔵庫より順次、資料を元に戻す作業を実施した。搬出時と同様、各資料の特性・状態を考慮した上で美術品取扱専門業者とともに作業にあたった。これらの作業に約1カ月間を要した。

表1 大規模改修工事スケジュール

主な工事	令和3年			令和4年												令和5年												令和6年				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
機械設備	空調設備																															
	給排水																															
電気設備																																
外壁改修																																
舞台装置(照明・機構・音響)																																
展示リニューアル																																
館内環境整備・空気清浄																																

2. 展示

常設展示

令和4・5年度は、工事のために全館休館しており、常設展示室でも空調（ダクト）・非常照明などの工事を実施した。

(1) 展示概要と使用展示室

（以下、開館時の状況）

当館の常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成している。総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示することとしている。

2室あるテーマ展示室では、名称のとおり当館収蔵資料の中で特色あるテーマを抽出して展示している。「仙台藩の武器・武具」と題したテーマ展示室Ⅰについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示し、「慶長遣欧使節」と題したⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を主に展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室期間を設ける場合がある。

同じく2室あるコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を集めて展示している。

Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。令和元年度までは、この展示室の前には引き出し式の特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まった令和2年度以降は、ケースへの接触を伴う展示形態であるため、展示を停止した。Ⅱでは、例年絵画を展示することが多い。

これら展示室のほか、具足などの複製資料や郷土玩具などを豊富にそろえた体験型展示を実施してきたプレイミュージアムがある。大人から子供まで楽

しめる展示は来館者アンケートでも好評を得てきた。詳細については、「4. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓3カ国語パンフレットの作成
- 2 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 3 展示資料のキャプションへの英文併記

また令和3年度から、常設展音声ガイドを兼ねるものとしてアプリ「ポケット学芸員」を通じ、音声（日・英・中・韓4カ国語）・画像付きで展示情報を提供しており、館外でも視聴することができるようになっている。

(3) 今後の課題等

大規模改修工事後は、実物資料中心の展示により仙台の歴史と文化を概観できるという当館常設展の特色を維持しつつ、博物館利用者にわかりやすく情報を届けていく工夫を館内外において実施していきたい。

特別展・企画展

仙台市博物館体験展示

「伊達政宗とお祭りひろば」

会 期 令和4年5月6日(金)～5月24日(火)

開場時間 10時～17時 会期中無休

開催日数 19日間

会 場 せんだいメディアテーク
5階ギャラリーC

観覧者数 2,049人(1日平均108人)

観 覧 料 無料

主 催 仙台市博物館(仙台市教育委員会)

仙台市博物館の大規模改修に伴う長期休館中、市民をはじめ市外から仙台を訪れた方々に仙台の歴史や文化に触れていただく機会とするため、せんだいメディアテークを会場として体験展示を開催した。本企画では、博物館を利用したことのない方にも楽しんでいただけるよう、来場者の体験と主体的な学びに重点を置き、複製資料を活用する形で展示を行った。

展示構成は、伊達政宗所用具足や支倉常長像などの複製資料をクイズ形式で観覧する展示、古文書の封紙やもんきりなど紙を使った体験、浮世絵を題材にした影絵あそびなど、多様なコーナーを設け、来場者が主体的に観覧するための工夫を施した。また、市民図書館の協力で会場内に伊達政宗等の関連図書コーナーを設置した。

会場では未就学児を含む家族での来場者が多くみられ、家族で対話したり、一緒に体験したりしながら会場を巡り、楽しむ姿が見られた。来場者からは「小3の息子は影絵とパズルが特に楽しかったようです。伊達政宗について知りたくなったので本を借りて帰ろうと思います。」(30代)、「クイズの内容が大人から子どもまで楽しめる内容で良かった。」(20代)などの声がきかれ、好評を得た。

展示構成

- (1) 伊達政宗からの挑戦状
- (2) おはなしの広場
- (3) 折る・切る・包む
- (4) さがして、ならべて、たんけん!
- (5) はい、ポーズ
- (6) リポート、仙台市博物館

主な展示資料(各複製)

黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用(複製)、黒羅紗地裾緋羅紗山形文様陣羽織 伊達政宗所用(複製)、銀伊予札白糸威胴丸具足 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領(複製)、金製ブローチ 伊達政宗所用 瑞鳳殿出土(複製)、硯 伊達政宗所用 瑞鳳殿出土(複製)、支倉常長像(複製)、ローマ教皇パウロ五世像(複製)、支倉常長復元衣装ほか

※すべて仙台市博物館蔵

展示風景



展示風景①



展示風景②



展示風景③



展示風景④

印刷物

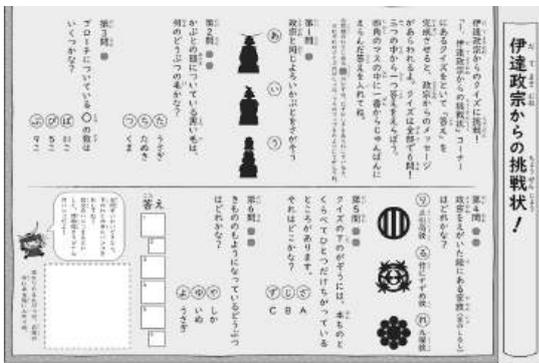
会場マップ・クイズシート A 3判 3,500枚
 古文書体験シート A 3判 2,000枚



ポスターA4判



会場マップ



クイズシート



古文書体験シート

関連イベント

(1) 「紙で遊ぼう！折る・切る・包む」
 5月7日(土) ①10:00~11:00 ②13:30~14:30
 会場：5階ギャラリー展示エリア内 参加19人



「紙で遊ぼう！折る・切る・包む」

(2) 第11回まちなか博物館講座「政宗のよろいを未来へ！～のぞいてみよう博物館の舞台裏～」
 5月14日(土) 13:30~14:30
 会場：東北工業大学一番町ロビー、
 オンライン (Zoom)
 参加55人 (会場11人、オンライン44人)
 講師：小田嶋なつみ (当館学芸員)

(3) 「屏風で遊ぼう！広げる・たたむ・つくる」
 5月15日(日) ①10:00~11:00、②13:30~14:30
 会場：5階ギャラリー展示エリア内 参加24人



「屏風で遊ぼう！広げる・たたむ・つくる」

第40回全国都市緑化仙台フェア開催記念

「伊達政宗と杜の都・仙台 —仙台市博物館の名品—」

- 会 期 令和5年4月26日(水)～6月18日(日)
前期：4月26日(水)～5月21日(日)
後期：5月23日(火)～6月18日(日)
- 会 場 宮城県美術館
- 開催日数 48日間(公開日数54日間)
- 観覧者数 11,938人(1日平均248人)
- 観 覧 料 一般800円(700円)、学生400円(300円)、
小・中・高校生 無料
※()内は20名以上の団体料金
- 主 催 宮城県美術館、仙台市博物館
- 後 援 公益財団法人都市緑化機構、河北新報社、
毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、
読売新聞東北総局、産経新聞社仙台支局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、NHK仙台放送局、tbc東北放
送、仙台放送、ミヤギテレビ、khb東日
本放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2
MHz

仙台藩初代藩主・伊達政宗は、慶長6年(1601)から仙台城と城下の建設に本格的に着手した。現在の仙台市は明治時代以降、旧城下の町割りを基礎として発展してきた歴史があり、市街地や近郊の緑豊かな景観から、「杜の都」の通称で知られている。その景観は、仙台城の御裏林であった青葉山(天然記念物)や、城下に形成された武家の屋敷林、周辺の村落や山林の植生など、江戸時代以来育まれてきた緑地を主として構成されていた。

第40回全国都市緑化仙台フェアを記念し、宮城県美術館との共催で開催したこの展覧会では、仙台市博物館が所蔵する名品から、仙台・宮城の発展の基礎を築いた伊達政宗と仙台城の歴史について展観した。あわせて、江戸時代の絵図などに描かれた「杜の都」のルーツとなる景観についても紹介した。

観覧客からは、博物館でも見たことがある作品が多かったものの、より立派に見えたという感想があった。ケース、天井高や展示室の広さなどに博物館と美術館では違いがあるため、同じ作品でも異なる印

象を受けたようである。

今回の展覧会を機に、博物館・美術館双方の学芸員同士も交流することができた。作品の見せ方(ライティング)や具体的な展示方法など、今後の参考になる事柄も多かった。

展示構成

第1章 伊達政宗と仙台

第2章 描かれた仙台・宮城の風景

第3章 城下町から「杜の都」仙台へ

パネル展示 絵ハガキ・古写真でみる杜の都の緑



開会式



展示風景

印刷物

ポスター	B2判	1,050枚
	B3判	130枚
チラシ	A4判	60,000枚



ポスターB 2判

- (4) ミニ「榴ヶ岡花見図屏風」をつくろう
宮城県美術館 2階回廊
6月4日(日)
①11:00～ ②14:00～ ③15:00～
参加31人

関連行事

(1) 記念講演会

「伊達政宗騎馬像と『杜の都・仙台』の確立」

4月29日(土・祝) 14:00～15:30

宮城県美術館講堂 参加91人

講師：中武敏彦（当館職員）



講演会

(2) 学芸員による展示解説

宮城県美術館アート・ホール

① 5月13日(土) 14:00～14:30 参加48人

講師：小田嶋なつみ（当館学芸員）

② 5月20日(土) 14:00～14:30 参加29人

講師：土生和彦氏（宮城県美術館学芸員）

③ 6月10日(土) 14:00～14:30 参加36人

講師：黒田風花（当館学芸員）

(3) まちなか博物館講座

「描かれた仙台・宮城の風景」

5月27日(土) 13:30～15:00

東北工業大学一番町ロビー 2階ホール

対面・オンライン 参加44人

講師：寺澤慎吾（当館学芸員）

展示資料リスト

●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品、◆は宮城県指定文化財、◇は仙台市指定文化財
※表記のあるもの以外は全て館蔵品

- ◎黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山時代 1領
- ◇黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山～江戸時代初期 1領
- 太刀 無銘(「鑑国行」) 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領
伝来国行作 鎌倉時代 1口
- ◎山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山時代 1領
- 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 江戸時代初期 1領
- 徳川家康領知覚書(百万石のお墨付き)
大崎少将(伊達政宗)宛 慶長5年(1600)8月22日 1通
- ◇貞山公治家記録 卷之二十下 慶長5年12月24日条
元禄16年(1703) 1冊
- ◇伊達政宗画像 狩野安信筆・酒井伯元賛
江戸時代前期 1幅
- ◇伊達政宗和歌詠草「入そめて」 江戸時代初期 1幅
- ◆扇面図屏風 慶長15年(1610) 6曲1双
- ◇葵図屏風 慶長15年(1610) 2曲1隻
- 竹図屏風 慶長15年(1610) 2曲1隻
- 竹図屏風 江戸時代前期 2曲1隻
- ◇仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 江戸時代 1巻
- 仙台城普請窺絵図 元禄7年(1694)11月16日 1鋪
- ◇菊桐紋釘隠 江戸時代初期 1口
- ◇唐草文金具 江戸時代初期 1口
- 金銅菊花菱文飾り金具・金銅菊唐草文飾り金具
仙台城本丸跡出土 江戸時代初期 3点
仙台市教育委員会蔵
- 青ガラスモール鉢片・エナメル彩動物文ガラス杯片
仙台城本丸跡出土 江戸時代初期 一括
仙台市教育委員会蔵
- 金箔押菊紋瓦 仙台城本丸跡出土 江戸時代初期 1点
仙台市教育委員会蔵
- ◇仙台橋の擬宝珠 慶長6年(1601) 1口
- ◇伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆 江戸時代初期 1幅
- ◇貞山公治家記録 卷之二十五上 元和元年5月6日条
元禄16年(1703) 1冊
- 吉野懐紙 文禄3年(1594)2月29日 3巻のうち1巻
- 木村宇右衛門覚書 下巻 木村右衛門可親筆
慶安5年(1652)頃 3冊のうち1冊
- 扇面和歌 伊達政宗筆 江戸時代前期 1本
- 道の記 伊達政宗筆 慶長20年(1615) 1巻
- ◎伊達政宗所用印章 桃山～江戸時代初期 2顆
- 伊達政宗黒印状 瀬成田源三郎等四名宛
寛永8年(1631)6月20日 1通
- 支倉常長像 1615年頃 1面
- ローマ教皇パウロ五世像 17世紀初期 1面
- 支倉常長像 高田力蔵模写
昭和47年(1972)(原本 1615～18年) 1面
- ローマ市公民権証書(複製) 支倉常長宛
原資料:1615年11月 1通
- ロザリオの聖母像 17世紀初期 1面
- ◇悲しみのマリア像 17世紀初期 1面
- 伊達政宗遣使録(ドイツ語版)
シピオーネ・アマーティ著 1617年 1冊
- 萩に鹿図屏風 伊達政宗詩歌書込
寛永5年(1628) 4曲1双
- 菊花図屏風 伊達政宗詩歌書込
寛永5年(1628) 4曲1隻
- ◇菊花図屏風 伊達政宗詩歌書込
寛永5年(1628) 2曲1隻
- ◇瑞鳳殿発掘資料 金梨地葵紋桐紋糸巻太刀拵
伊達政宗所用 江戸時代初期 1口
- ◇瑞鳳殿発掘資料 金製ブローチ 伊達政宗所用
16～17世紀 1点
- ◇瑞鳳殿発掘資料 煙管・文鎮・鏡 伊達政宗所用
16～17世紀 6点
- ◇榴ヶ岡花見図屏風 江戸時代中期 6曲1隻
- 松島雨霽図 谷文晁筆 寛政7年(1795) 1幅
- 松島塩竈図屏風 長谷川宗園筆 江戸時代初期 4曲・8曲
- 勝画楼望月・五大堂観日図 菅井梅関筆
江戸時代後期 双幅
- 仙台領分名所手鑑 狩野典信画・伊達宗村書
江戸時代中期 1帖
- 塩竈松島図巻 小池曲江筆 文化7年(1810) 1巻
- 御領内名所図会 佐久間晴岳筆
嘉永5年(1852)以後 1巻
- ◇仙台下絵図 蘭光落款 文久2年(1862)9月 1幅
- 仙台下図屏風 吉成東温筆 慶応元年(1865)6曲1隻
- ◇明治元年現状仙台城市之図 明治元年(1868) 1面
- 宮城十二景図屏風 遠藤速雄筆 大正時代 6曲1双
- 奥州仙台城絵図(複製) 原資料:正保2年(1645) 1鋪
- 仙台下五蟹卦絵図(複製)
原資料:元禄5年(1692)頃 1鋪(原資料4鋪)

3. 資料の収集保管

受贈資料

【令和4年度】

4つの個人・団体から11件15点（概数）の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

杉村優／東東洋書状ほか／2件2点

安倍修／埋もれ木細工（馬置物）ほか／6件10点

西村容太郎／扇面貼り交ぜ屏風ほか／2件2点

小倉武／小倉家関係資料／1件一括

【令和5年度】

6つの個人・団体から29件36点（概数）の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

畠山公一／伊達亀千代書「初華」／1件1点

Mia Kodani／仙台様御入部記および添巻粉本／1件5点

鈴木奈代子／仙台城本丸扉（部分）／1件1点

千木良崇／陣笠／3件3点

岸田貴子／黒漆五枚胴具足、陣笠ほか／14件17点

大越茂隆／大越茂世自画肖像、十文字槍、伊達吉村和歌幅ほか／9件9点

購入資料

令和4・5年度の購入資料は1件3点であった。

伊達政宗書状 片倉小十郎宛／3通

寄託資料

令和4年度、当館では118人11,635件の寄託を受け付けた。令和5年度は、117人11,632件の寄託を受け付けた。

資料修理

【令和4年度】

4点の修理を行った。

(1) 本紙剥がれの糊付け

仙台市指定文化財 葵図屏風 1双のうち1隻
計1点

(2) 本紙裂け部分の糊付け

竹図屏風（江戸時代前期） 1隻 計1点

(3) 脱落部分の接合

朱黹漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付のうち
三宝荒神形兜 1頭 計1点

(4) 肌裏剥がし・裏打ち・太巻装

仙台市指定文化財 仙台城下鳥瞰図のうち仙台城
下絵図（文久2年） 1幅 計1点

【令和5年度】

3点の修理を行った。

(1) 表具仕立て直し・太巻装

茅濠図（室町時代後期）雪村周継筆 1幅
計1点

(2) しわ延ばし・継ぎ合わせ・各所つくり・裏打ち・太巻芯仮表装具仕立て

栄心院様御家作壺躰之御絵図 1鋪 計1点

(3) 裏地の補強・覆輪の付け替え・穴の補修など

紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 1領 計1点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり塵埃調査を実施した。

【令和4年度】

(1) 塵埃調査

目的：大規模改修工実施中の浮遊塵埃量の把握

実施日①：令和4年7月8日

実施日②：令和4年10月12日

実施日③：令和5年2月7日

方法：デジタル粉塵計による採集。

調査場所：展示室・収蔵庫など15カ所において採取。

効果：調査結果をうけ、清掃作業を行うとともに外気の流入を妨げるための対策を講じた。

また上記期間以外に館内数カ所に粘着トラップを設置し、継続的に加害生物の侵入状況を観察した。

【令和5年度】

(1) 加害生物および浮遊菌・塵埃調査

目的：大規模改修工事および終了後の歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定、塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日①：令和5年9月29日～10月12日

（トラップ設置：令和5年9月29日～10月12日、
浮遊菌・塵埃採集：令和5年10月12日）

実施日②：令和5年12月26日～令和6年1月9日

（トラップ設置：令和5年12月26日～令和6年1
月9日、浮遊菌・塵埃採集：令和5年12月26日）

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。菌類・
塵埃はエアースンプラーによる採集と培養
による計測。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内140カ所に粘
着トラップを設置。同じく25カ所にお
いてエアースンプラーを採取。

効果：調査結果をうけ、清掃作業を行うとともに
加害生物および外気の侵入を防ぐための対
策を講じた。また、上記期間以外にも館内
数カ所に粘着トラップを設置し、継続的に
侵入状況を観察した。

(2) くん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等
のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺
虫・殺菌。

実施日：①令和6年2月18日～22日

②令和6年2月26日～3月1日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）
ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・
殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガ
スの屋外排気にあたっては活性炭に有害
物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

【令和4年度】

7の施設に108件173点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

岩手県立美術館・福島県立美術館・東京ステーショ
ンギャラリー／「東北へのまなざし 1930-1945」
展／ブルーノ・タウト関係資料5件5点（椅子・
テーブルスタンド・フロアスタンド）／令和3年
10月23日～令和6年2月29日

東北歴史博物館／テーマ展示「伊達家文書の世界—
近世血判起請文の展開—」／重要文化財 伊達家
文書1件15点／令和4年6月7日～7月24日

福岡市博物館／特別展「独眼竜 伊達政宗」／国宝
慶長遣欧使節関係資料他100件132点／令和4年10
月4日～11月30日

東北歴史博物館／特別展「みちのくのサムライたち」
／重要文化財 伊達家文書1件20点／令和4年10
月1日～11月27日

東北歴史博物館／特別展「悠久の絆 奈良・東北の
みほとけ展」／木造菩薩立像1件1点（十八夜観
世音堂保存会所蔵・仙台市博物館寄託）／令和5
年2月5日～7月16日

【令和5年度】

2の施設に2件7点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

東北歴史博物館／テーマ展示「伊達家文書の世界—
伊達綱村の遺言—」／重要文化財 伊達家文書1
件6点／令和5年8月8日～9月18日

仙台市富沢遺跡保存館／第104回企画展「復元図か
ら読み解く水河期の森」／富沢遺跡復元図（細野
修一筆）1件1点／令和5年8月18日～12月7日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。

【令和4年度】

利用申込は232件597点であった。「重要文化財
黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ19回、「ユ
ネスコ「世界の記憶」・国宝 支倉常長像」はのべ2
0回の利用があった。

【令和5年度】

利用申込は177件506点であった。「重要文化財
黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ17回、「ユ
ネスコ「世界の記憶」・国宝 支倉常長像」はのべ
16回の利用があった。



重要文化財 黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用



ユネスコ「世界の記憶」・国宝
支倉常長像

表2 収蔵指定文化財一覧

令和6年3月31日現在

国指定文化財（国宝）

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ「世界の記憶」（平成25年6月19日登録）

国指定文化財（重要文化財）

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日
古文書	伊達家文書(1,046通)	26巻、21冊、 20幅、953通、 1鋪、2綴、2枚	令和2年9月30日
古文書	伊達家印章 附 印譜(44通) 3冊、2帖、39通	127顆	令和2年9月30日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
工芸	薙刀 銘国包	1口	昭和34年8月31日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3 幅	昭和60年 9 月 4 日
絵画	紙本著色河図之図 (東東洋筆)	1 幅	昭和60年 9 月 4 日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1 面	昭和60年 9 月 4 日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6 幅	平成 7 年 3 月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	服飾類 (伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織 (伊達重村所用)	1領	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2 筒 伊達忠宗作 2 筒 伊達綱宗作 6 筒 伊達綱村作 7 筒 伊達吉村作 36筒 仙台藩主作 7 筒 (以上茶杓箆筒入) 伊達忠宗作 1 筒	61筒	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1 個 1 個	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1 合	1 面	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1 領	平成20年 3 月24日
工芸品	朱黼漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1 領	平成20年 3 月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1 口	平成20年 3 月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盪	1 具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1 挺	平成26年 7 月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2 冊	昭和51年 7 月 1 日
古文書	印章 (仙台伊達家伝来)	133類	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首卷 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1 冊 9 卷 9 冊 10巻14冊 1 冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8 枚	昭和60年 9 月 4 日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年 9 月 4 日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
考古資料	伊達政宗墓所出土品		昭和60年9月4日
	糸巻太刀刀身	1口	
	糸巻太刀拵	1腰	
	黒漆葛蒔絵文箱	1合	
	青龍付文鎮(文箱内容品)	1点	
	墨(文箱内容品)	1挺	
	黒漆白梅蒔絵箱	1合	
	梨地菊蒔絵箱	1合	
	黒漆鉄線蒔絵香合	1合	
	梨地梅笹蒔絵硯箱	1合	
	筆入(硯箱内容品)	1点	
	墨(硯箱内容品)	1挺	
	硯(硯箱内容品)	1面	
	水滴(硯箱内容品)	1点	
	梨地煙管箱	1合	
	煙管羅字(煙管箱内容品)	2点	
	梨地菊蒔絵印籠	1具	
	皮袋	1点	
	慶長1分金(皮袋内容品)	3枚	
	携帯用磁石(皮袋内容品)	1点	
	金製ブローチ(皮袋内容品)	1点	
練玉(皮袋緒締)	1点		
銀製服飾品	1点		
円鏡	1点		
毛拔	2点		
雲母製菜板	5枚		
葵紋金製菜板	1枚		
金具	一括		
残欠類	一括		
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2～3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五輦卦絵図(推定元禄4～5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6～寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

令和6年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,293
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,180
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥蔵関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	472
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,937
絵画	絵画	1,191
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	18,519

総計 99,940点

(新規収蔵資料25点。移管資料1点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)
 点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。
 ◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

4. 教育・普及

講座・イベント

1. 博物館七夕飾り

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾るイベント。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、例年展示している。

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、実施しなかった。

2. 夏休みサポートプロジェクト

令和4年7月21日(木)～8月24日(水)

博物館ホームページのキッズコーナーに、調べ学習サポートのページを設け、学習に役立つページを紹介。また、歴ネットシートや新聞用紙を掲載し、必要に応じてダウンロードできるようにした。

令和5年度は、実施しなかった。

3. 仙台っ子歴史探検隊

小学4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、実施しなかった。

4. 親子体験イベント

夏休み工作教室

市民センターとの共催事業として、小中学生親子を対象とした夏休みの工作教室を開催してきた。

令和4年度は、各市民センターを会場として全8回実施した。

令和5年度も市民センターとの共催事業として、各市民センターを会場とし、全5回実施した。

5. しろ・まち講座

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会の見どころについて紹介したりするために講座を実施している。

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、実施しなかった。

6. まちなか博物館講座

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。

令和4年度は、①大規模改修工事に伴う休館中の博物館学芸員の取り組みを紹介する講座（第11回）を、対面とオンライン（Zoom）を組み合わせたハイブリッド形式で開催した。また、②福岡市博物館で開催した特別展「独眼竜 伊達政宗」の展示資料から、政宗の横顔や生きた時代を紹介する講座（第12回）を、オンライン（Zoom）による動画配信で行った。

令和5年度は、①宮城県美術館で開催した企画展「伊達政宗と杜の都・仙台」に関連し、風景や景観を描いた絵画資料を紹介する講座（第13回）と②仙台城下を描いた絵図や周辺に現存する町屋について、歴史学と建築学の視点から紹介する講座（第14回）を、それぞれ対面とオンライン（Zoom）を組み合わせたハイブリッド形式で開催した。

表4 令和4年度 まちなか博物館講座

No.	月日	講師・演題	参加者
11	5/14 (土)	小田嶋なつみ（当館学芸員） 「政宗のよろいを未来へ！ ～のぞいてみよう博物館の舞台裏～」	55人
12	11/12 (土)	黒田風花（当館学芸員） 「古文書・古記録にみる伊達政宗 —福岡市博物館特別展「独眼竜伊達政宗」展示資料紹介を中心に—」	46人



まちなか博物館講座11



まちなか博物館講座12 チラシ

表5 令和5年度 まちなか博物館講座

No.	月日	講師・演題	参加者
13	5/27 (土)	寺澤慎吾 (当館学芸員) 「描かれた仙台・宮城の風景」	44人
14	10/28 (土)	水野沙織 (当館学芸普及室長) 中村琢巳氏 (東北工業大学建築 学部建築学科准教授) 「仙台城下の町屋と町並み —過去・現在・未来—」	86人



まちなか博物館講座13



まちなか博物館講座14

7. 生涯学習推進 (館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、感染症対策を講じながら学芸員等の館職員が市民向け講座等を行った。令和4年度は大規模改修工事による休館のため、全て館外での実施となった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書 (館内・館外)」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況 (館内・館外) については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表6 令和4・5年度 館外講師派遣状況

	件数	対象人数
令和4年度	36件	1,564人
令和5年度	26件	1,037人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物（常設展示）と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物（イベント）の2種類がある。

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため閉室した。

1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす・音を出す・写し取る・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

「変身する」の中に含まれる「政宗のかぶとをかぶってみよう」は人気のある常設展示となっている。

表7 主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居	
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形	
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯰・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器	
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や復刻版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー
	量	枡（一升・五合・一合）／計量カップ
	重さ	ヘルスマーター／台秤
織る	平織機（カラコ）	編む
	織りの組織見本	百足編み 花結び
変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭

考 え る	からくりの復元 アイ・トリック	二挺天府式和時計 ゆがみ絵／トロンプイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式視き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞆絵／立体眼鏡／万華鏡類 投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ 組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチュアパズル日本地図
学 ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書	

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため休止した。

2. イベント

変身タイム

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。例年、年3回実施している。令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

特別イベント

常設展示資料に焦点をあてたもの、年中行事や季節にあわせたもの、特別展や企画展にちなんだものなどを随時開催。令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

3. 休館中のプレイミュージアム関連事業

令和4・5年度は、市民センターとの共催事業「仙台市博物館巡回講座」のうちの一つとして、「体験！プレイミュージアム」を開催。プレイミュージアムで展示していた昔の玩具や楽器、遊び等を紹介したり、仙台伊達家の家紋を使ったもんきり遊び体験を行った。



巡回講座「体験！プレイミュージアム」

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置付けている。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため閉室した。

なお、工事に伴い、図書・什器を一時的に移動する作業を行った。

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

令和4年度の受入図書は1,018冊で、図書整理の結果、蔵書数は85,844冊となった。

令和5年度の受入図書は1,593冊で、図書整理の結果、蔵書数は87,158冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は6,013冊である。

また、センター内の企画として、特別展・企画展など展示に関連した特設図書コーナーを設置している。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

2. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、開架書架に配している。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申し込み制）で複写プリントのサービスを行っている。伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などの資料が閲覧可能である。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

4. 映像資料

申し込み制の利用とし、館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため休止した。

6. デジタルデータの活用

仙台市博物館収蔵資料データベースのインターネット公開（36ページ参照）を受け、センター内で情報閲覧するための来館者用端末サービスの準備を行った。

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、学校の博物館利用の受け入れを行わなかった。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、配布先を仙台都市圏内の市町村の学校に限定して送付した。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため休止した。

(2) 博物館活用研修

指導主事による社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、学習プログラムの体験などを通して、博物館見学に対する意識付けを図り、博物館活用のヒントになるような研修の機会を提供した。令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、外部施設を会場として開催した。

【令和4年度】

日 時：令和4年7月29日(水) 9:00~12:00

会 場：仙台市教育センター第9研修室

参加者：教職員10人

【令和5年度】

日 時：令和5年7月31日(月) 9:00~12:00

会 場：仙台市教育センター第9研修室

参加者：教職員10人

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

以下のように各教育機関と連携し、研修会を開催

した。なお、令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、外部施設を会場として開催した。研修会では、主に博物館指導主事や学芸員が講師となり、講義や体験実習を行った。

各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりがみられた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・社会教育施設連携研修

【令和4年度】

日 時：令和4年7月27日(水) 9:30~12:00

会 場：史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設
学習室等

内 容：博物館・文化財課の学校向け出前授業や
文化財課施設の活用方法等を紹介

参加者：教職員7人

【令和5年度】

日 時：令和5年7月28日(金) 9:30~12:00

会 場：史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設
学習室等

内 容：博物館・文化財課の学校向け出前授業や
文化財課施設の活用方法等を紹介

参加者：教職員8人

・小中学校図工・美術科研修

【令和4年度】

日 時：令和4年8月1日(月) 9:30~15:30

会 場：仙台市教育センター

内 容：講話や体験活動等を通して、図工・美術
科における博物館の活用について紹介

参加者：教職員11人

【令和5年度】

日 時：令和5年8月2日(水) 9:30~15:30

会 場：仙台市教育センター

内 容：講話や体験活動等を通して、図工・美術
科における博物館の活用について紹介

参加者：教職員13人

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応している。

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため休止した。

5. 職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、職場体験の受け入れを見合わせた。

6. 博物館教材の貸出

令和4年度の博物館教材の貸出件数は、5件であった。最も件数の多かった貸出教材は「楽山公行列図巻」で、他には石包丁や銅鐸等の資料の貸出があった。

令和5年度は7件の貸出希望があり、学校だけでなく町内会や行政へ貸出を行った。

7. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるように、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼では、展覧会の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。また、図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。なお、令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、館内講師の受け入れは行わなかった。

館外講師については、主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」は、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表8 学習プログラム一覧

	プログラム名	内 容
社 会 科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	戊辰戦争 仙台藩と会津藩	戊辰戦争における仙台藩や会津藩の関わりについて学ぶ

図 工 ・ 美 術 科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	土人形って何だろう	絵付けをとおして土人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞やミニ屏風の製作をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ
	蒔絵であそぼう	蒔絵の製作をとおして蒔絵の美術作品や歴史について学ぶ

表9は、当館で受理された「講師派遣依頼（館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）

表9 講師派遣一覧（学校関係）

令和4年度

講 師 派 遣	件数※	対象人数※
館外講師 (内訳) ○小学校 (出前授業)	26件	1,623人
○中学校 (出前授業)	25件	1,617人
○中学校 (出前授業)	0件	0人
○その他	1件	6人
合 計	26件	1,623人

令和5年度

講 師 派 遣	件数※	対象人数※
館外講師 (内訳) ○小学校 (出前授業)	27件	1,986人
○中学校 (出前授業)	25件	1,964人
○中学校 (出前授業)	1件	14人
○その他	1件	8人
合 計	27件	1,986人

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、博物館実習の受け入れは行わなかった。

9. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、令和3年度3月現在で16校となった（令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため募集しなかった）。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、館内イベントへの学生サポーターの活用のほか、博物館活用研修や、平成28年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館

講座（詳しくは「講座・イベント」の頁を参照）がある。

参考 令和3年度 加入校一覧（五十音順）

尚綱学院大学 / 聖和学園短期大学 / 仙台高等専門学校 / 仙台白百合女子大学 / 東北医科薬科大学 / 東北学院大学 / 東北工業大学 / 東北生活文化大学 / 東北生活文化大学短期大学部 / 東北大学 / 東北文化学園専門学校 / 東北文化学園大学 / 放送大学 宮城学習センター / 宮城学院女子大学 / 宮城教育大学 / 宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。

参加機関 16施設（令和6年3月31日現在）

仙台市科学館／仙台うみの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館／仙台市博物館*／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク*／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／仙台市教育委員会(生涯学習部)*
*は事務局を示す。※事務局本部はせんだいメディアテーク。

1. ミュージアムユニバース

【令和4年度】

令和4年度のミュージアムユニバースは、会場の都合により、1日だけの開催となった。各館の取り組みを紹介する「参加館紹介コーナー」、体験やクイズ・トークを通して各館の特色を味わえる「体験プログラム」の2つを実施した。

ミュージアムユニバース

～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催期間：令和4年12月3日(土) 10:00～16:00

参加人数：150人

開催場所：せんだいメディアテーク 1階

(1) 「参加館紹介コーナー」

仙台市博物館の印刷物（館だより、休館中の活動案内、政宗マスクケース、古文書ワークシート、おうちでチャレンジ(江戸時代の遊び絵)）を配架した。

(2) 体験プログラム

○かんたんな蒔絵に挑戦！

日時：12月3日(土) 10:00～12:00

①10:00～10:25 7人 ②10:40～11:05 9人

③11:20～11:45 5人 計21人



仙台伝統門松（レプリカ）展示の様子



「かんたんな蒔絵に挑戦！」の様子

【令和5年度】

令和5年度のミュージアムユニバースは、「せんだいひとむかし」と題し、SMMA参加館の懐かしい写真などが展示され、4日間にわたり開催された。「展示」「トークイベント」「ワークショップイベント」の3つの構成で展開された。

ミュージアムユニバース

～せんだいひとむかし～

開催期間：令和5年12月14日（木）～17日（日）

10：00～18：00

参加人数：4,060人

開催場所：せんだいメディアテーク1階

(1) 展示

仙台市博物館からは仙台伝統門松の展示のほか、門松の紹介動画「受け継ぐー仙台の伝統門松ー」の放映、仙台市博物館の印刷物（館だより、歴ネットシート（仙台市博物館分））を配架した。

(2) ワークショップイベント

○「もんきりがた」で遊ぼう

日時：12月16日（土）10：30～11：30

①10：30～11：00 8人

②11：00～11：30 10人

計18人



『「もんきりがた」で遊ぼう』の様子

2. SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28年度から引き続き令和4・5年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

(1) SMMA研修会および情報交換会

【令和4年度】

①「仙台文学館 特別展「山内ジョージ 文字絵の世界」展示見学および情報交換会」

日時：令和4年12月8日(木) 15:00~17:00

会場：仙台文学館

展示解説：伊藤美菜子氏（仙台文学館 学芸員）

内容：特別展を自由見学した後、展示技術や見せ方の工夫などについて担当学芸員から展示の解説を聞く研修を実施し、その後、質疑応答、情報交換の時間を設け互いに広く学ぶ機会とした。

参加者：14人



研修会（展示解説・情報交換会）の様子

②「文化財の梱包・輸送について 第2弾」

日時：令和5年1月25日(水) 13:30~16:00

会場：仙台文学館

講師：鈴木宏俊氏（日本通運株式会社）

美術品梱包輸送技能士2級）

鈴木寛氏（日本通運株式会社）

内容：平成30年度の開催以来、再びリクエストのあった文化財の「梱包・輸送」をテーマに、美術品梱包輸送技能士2級の資格を持つ講師を招き、その考え方や技術について学ぶ機会として実施した。

参加者：33人



研修会（文化財の梱包・輸送について 第2弾）の様子

【令和5年度】

①「仙台市科学館 展示見学および情報交換会」

日時：令和5年8月2日(水) 14:00~16:45

会場：仙台市科学館

展示解説／講師：青木博法氏

（仙台市科学館 主任指導主事）

内容：仙台市科学館の展示コンセプトや令和5年10月からはじまる4階のリニューアル工事の概要、展望についてお話しいたき、常設展・特別展の見学を行った。

情報交換会では、障害者のための生涯学習やバリアフリーの取り組みについて、部会メンバーから取り組み事例の紹介を行い、互いに広く学ぶ機会とした。

参加者：15人



研修会（展示解説）の様子



情報交換会（バリアフリー事例紹介）の様子

②「ミュージアムと法～資料の収集・保管・

展示等を巡って～」(オンライン開催)

日時：令和6年3月14日(木) 14:00~16:00

会場：仙台文学館

講師：早川和宏氏（東洋大学副学長・法学部法律学科教授 法律事務所フロンティア・ロー客員弁護士）

内容：資料の寄贈や寄託、撮影に関して生じる権利関係など、ミュージアム職員が備えるべき法的素養について法の種類や博物館資料の法的性格、著作権法などの観点からお話しいたいだいた。

参加者：46人

※アーカイブ配信（歴史民俗資料館公式YouTubeチャンネル）：3月27日(水)～4月30日(火)



研修会の様子（オンライン画面）

この他、運営会議や実行委員会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。平成30年度より史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が加わり9館となった。

参加施設 9施設

地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／仙台城見聞館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

1. 連携事業の実施

(1) 歴ネットクイズラリー

【令和4年度】

仙台市博物館が大規模改修工事により休館中だったため、8館で開催した。戦災復興記念館は、改修工事による休館のため12月1日から開催した。クイズラリーは、参加者がオリジナルクイズに答えて各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができるイベントである。令和4年度は、4館達成者には歴ネットクリアファイルを、7館達成者には歴ネット各館オリジナルプレゼント詰め合わせをプレゼントした。全館達成者のアンケート記述からは、歴ネットクイズラリーが、参加者にとって今まで行っただけの館に足を運んだり、仙台の歴史を学んだりする良い機会となっていることがうかがえる。

期間：令和4年10月8日～令和5年1月29日

台紙配布数：3,975枚

4館達成者：100人

7館達成者：59人



令和4年度歴ネットクイズラリーポスター

【令和5年度】

令和4年度に引き続き、仙台市博物館を除く8館の会場で例年より期間を短縮して開催した。令和5年度は、4館達成者には歴ネットクリアファイルを、8館達成者には歴ネット各館オリジナルプレゼント詰め合わせをプレゼントしたほか、参加者増を目的として、全館達成者が応募することのできる歴ネット参加館による「プレミアム体験企画」のプレゼントを6つ準備した。また、小中学生とその保護者をターゲットとした上で市内学校に重点的にPRするなど、新たな試みを行った。今年度は全館達成者における他県からの参加者の割合が高く、広島県や滋賀県から「プレミアム体験企画」に応募・参加した方もいた。

期間：令和5年10月7日～令和5年12月27日

台紙配布数：4,309枚

4館達成者：71人

8館達成者：43人

プレミアム体験企画応募数：15人

番号	企画名と参加施設	企画の内容	注意事項
①	【仙台城見聞館】 「道徳の道くまぐら」 限定企画	道徳の道くまぐらを体験し、くまぐらに答えることができます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②道徳の道くまぐらに答える時、入館ができません。 ③参加時間は10分です。全館の定数は、参加者が多く、定員を超えた場合は抽選となります。 ④入館料が必要です。
②	【仙台市歴史民俗資料館】 「手紙のついでに」 限定企画	手紙のついでに(1)と(2)の2つのクイズに答えることができます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②参加時間は、両館とも10:00～12:00(12:00～15:00)のいずれかになります。 ③参加時間は10分です。 ④参加者は仙台市博物館の受付で参加申し込みが必要です。
③	【仙台市博物館】 「土曜限定」 限定企画	文化財(1)と(2)の2つのクイズに答えることができます。また、展示室のクイズも楽しめます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②参加時間は、両館とも10:00～12:00(12:00～15:00)のいずれかになります。 ③参加時間は10分です。 ④参加者は仙台市博物館の受付で参加申し込みが必要です。
④	【仙台市博物館】 「三浦主君」 限定企画	三浦主君の歴史を学び、クイズに答えることができます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②参加時間は、両館とも10:00～12:00(12:00～15:00)のいずれかになります。 ③参加時間は30～45分です。
⑤	【仙台市博物館】 「石臼」 限定企画	石臼の歴史を学び、クイズに答えることができます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②参加時間は、両館とも10:00～12:00(12:00～15:00)のいずれかになります。 ③参加時間は30～45分です。
⑥	【仙台市博物館】 「仙台市博物館」 限定企画	仙台市博物館の歴史を学び、クイズに答えることができます。	①参加者は令和5年2月2日(土)16:00からです。 ②参加時間は、両館とも10:00～12:00(12:00～15:00)のいずれかになります。 ③参加時間は30～45分です。 ④参加者は仙台市博物館の受付で参加申し込みが必要です。

「プレミアム体験企画」

(2) SMMAミュージアムユニバースへの参加

令和4・5年度は、SMMAイベント「ミュージアムユニバース」に参加し、クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」と展示スペースでのパネル展示を行った。なお、ミュージアムユニバースは新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中心とした開催が見送られてきたため、令和4年度は歴ネットとしても3年ぶりの参加となった。

クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」では、歴ネット各館から仙台の歴史に関するクイズを出題し、参加者に回答してもらうことで、仙台の歴史に親しんでもらったり、各館のPRにつなげたりした。参加者は親子連れが多く、クイズに正解すると歓声があがるなど、終始和やかな雰囲気の中でクイズやトークを楽しむ様子が見られた。

また、展示スペースでのパネル展示では、歴ネット活動を紹介するパネルや、参加館である瑞鳳殿、仙台城見聞館、戦災復興記念館、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設の紹介パネルを展示した。さらに、現在休館中の仙台市博物館の「歴ネットシート」（参加館が作成した統一規格のシート）を配布した。

令和4年度は、感染症対策を講じた上での開催ということもあり、省略せざるを得なかった部分もあったが、令和5年度は通常どおりの開催ができた。令和5年度は各館のPRは動画にまとめるなどの工夫を行い、より短時間でのイベントとした。次年度以降はまた新たなアイデアを盛り込みながら、イベントに参加できるようにしていきたい。

クイズ&トーク「知ってる!? 仙台の歴史」

【令和4年度】

日 時：令和4年12月3日(土) 14:30~15:30

会 場：せんだいメディアテーク1階

参加者：20人



令和4年度クイズ&トーク「知ってる!? 仙台の歴史」の様子

【令和5年度】

日 時：令和5年12月16日(土) 13:15~14:00

会 場：せんだいメディアテーク1階

参加者：20人



令和5年度クイズ&トーク「知ってる!? 仙台の歴史」の様子

(3) 仙台の伝統門松復元事業

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、歴ネット各館で展示した。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。また、昨年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄を担当者が中心となって作成した。

なお、近年は歴ネット参加館以外の施設や店舗等においても伝統門松の展示が行われるようになってきている。また、毎年伝統門松展示の様子が新聞や市政だより等で紹介されてきたことで、市民の認知度が高まりつつあることを実感した。

【令和4年度】

伝統門松の展示がスタートしてから11年目となる令和4年度は、仙台市博物館が休館中のため、歴ネット7館と宮城野図書館（仙台市博物館による出張展示）の全8館で展示した。

展示期間：令和4年12月10日~令和5年2月12日

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設／宮城野図書館（博物館）

研 修

日 時：令和4年12月7日(水) 13:00~16:00

会 場：仙台市縄文の森広場 活動室及び工房

内 容：「ケンダイ（しめ縄）作り」

参加者：歴ネット職員（15人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催した。



令和4年度研修「ケンダイ（しめ縄）作り」

【令和5年度】

伝統門松の展示がスタートしてから12年目となる令和5年度は、仙台市博物館が休館中のため、歴ネット7館とせんだいメディアテーク、仙臺緑彩館（仙台市博物館による出張展示）の全9館で展示した。

展示期間：令和5年12月2日～令和6年2月12日

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設／せんだいメディアテーク（博物館）／仙臺緑彩館（博物館）

研 修

日 時：令和5年12月5日（火）13：00～16：00

会 場：仙台市縄文の森広場

内 容：「ケンダイ（しめ縄）作り」

参加者：歴ネット職員（14人）、外部見学者（5人）



令和5年度研修「ケンダイ（しめ縄）作り」

2. 広報・その他

(1) 歴ネット会議

令和4・5年度は各5回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

(2) 歴ネットシートの作成・配布

参加館が統一規格のシートを用い、各館で仙台の歴史や文化について紹介した。

○令和4年度シート配布数：約5,253枚

○令和5年度シート配布数：約5,200枚

(3) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

再開館に向けての広報活動

1. 公募型プロポーザル方式による業務委託

令和6年4月2日(火)の再開館に向け、リニューアルした博物館の魅力効果を効果的に情報発信し、市民や観光客などの誘客促進を図ることが課題となっていた。

再開館にあたっては、「仙台市博物館再開館記念祭企画展 こりゃめでたい」の開催が決定しており、体験や遊びを通して博物館に親しんでもらうことを意図していた。特にターゲット層としたのが、小・中学生やその親世代である20～40代である。こうした年齢層にアピールするためには、デザインやキャッチコピーを重視した訴求力の高いポスター・チラシ等を製作し、それらを活用した広報活動を戦略的に展開する必要がある。

そのため、公募型プロポーザル方式により印刷物等のデザイン製作と広報業務の委託を実施した。

(1) 業務の概要

業務名：仙台市博物館再開館印刷物等製作及び広報業務委託

- ① 印刷物等のデザイン・製作
- ② 上記①で製作した印刷物等の活用による各種メディアを通じた広報の企画運営
- ③ その他、印刷物や広報企画等の提案
- ④ 提案上限額 3,100,000円
- ⑤ 業務履行期間 令和6年3月31日(日)まで

(2) 事業者の募集から決定まで

提案募集開始	令和5年11月13日(月)
現場説明会	令和5年11月20日(月)
意思表明書提出期限	令和5年11月29日(水)
提案書提出期限	令和5年12月6日(水)
審査委員会の開催	令和5年12月8日(金)

6つの評価項目による採点方式にて提案書の審査とヒアリングを実施した結果、株式会社ユーメディアが受託事業者に決定した。

(3) 事業の実施状況

【印刷物等製作】

- ① 広報用B2判ポスター 1,100枚



ポスターB2版

- ② 広報用A4判チラシ 50,000枚
- ③ 展覧会リーフレットA3判 二つ折り 20,000部
- ④ リーフレット貼り付け用シール 20,000枚
- ⑤ 広報用ステッカー 1,000枚



広報用ステッカー

- ⑥ 仙台市地下鉄ドアガラスステッカー(2種類) 310枚
- ⑦ JR仙台駅J-ADビジョン掲出用画像



J-ADビジョン掲出用画像

【広報業務委託】

①地下鉄ドアガラスステッカー掲出

令和6年3月1日(金)～3月31日(日)



地下鉄ドアガラスステッカー

②地下鉄イベントボードポスター掲出

令和6年3月6日(水)～3月26日(火)

仙台市地下鉄南北線・東西線全駅

③MIYAGI イベントJOY 4・5月号掲載

令和6年3月15日(金)発行

④せんだいタウン情報machico (WEB) 掲載

令和6年3月28日(木)公開

machico X/machico Facebook/machico
dmenu/machico gooニュースを含む

⑤日刊S-styleWEB 掲載

令和6年3月29日(金)公開

⑥仙台つーしん (WEB) 掲載

令和6年3月31日(日)公開

仙台つーしんX/仙台つーしんInstagramを
含む

⑦Kappo 5月号掲載 (特集記事/広告)

令和6年4月5日(金)発行

⑧エコファミリーしんぶん 4月10日号掲載

令和6年4月10日(水)発行

⑨ポスター1,050枚、チラシ45,000枚発送

※⑦⑧は令和6年3月31日(日)までに校了。

2. 館外媒体への特集記事掲載

再開館と大規模改修工事等によるリニューアルの概要を広く市民に周知するため、仙台市広報課の協力を得て、「仙台市政だより」や「リビング仙台」(仙台リビング新聞社発行)に特集記事を掲載した。

(1) 仙台市政だより 4月号



仙台市政だより

(2) リビング仙台 3月29日号

「そこが知りたい! 仙台市」



リビング仙台 3月29日号

(3) その他再開館に伴う記事掲載

「ちかてつさんぽ」4・5月号ほか8件

3. 報道機関等向けの内覧会

令和6年3月22日(金) 10:00～11:00

参加数 8社(テレビ局5社、ラジオ局1社、
新聞社2社)

広報・情報発信

展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にもさまざまな方法・媒体があり、博物館だよりなどの印刷物、ホームページ・SNSを合わせたインターネットによる広報を基本に、電照広告等各種媒体を活用し、多角的な情報発信に努めている。令和4・5年度は、休館中の館外でのイベント内容や改修工事の進捗状況などを中心に情報発信を行った。

また、博物館に来館できなくてもご自宅等で博物館の企画を楽しんでいただけるよう、インターネットを活用した情報発信に取り組んだ。

1. 広報用印刷物

令和4・5年度は、博物館だよりと休館中の活動案内を発行・配布した。これらはホームページへPDFデータを掲載し、自由に閲覧できるようにしている。

(1) 博物館だより（原則3カ月毎発行）

No.205～212

A3判 二つ折り 見開きカラー4ページ



令和4年度 館だより205～208



令和5年度 館だより209～212

(2) 休館中の活動案内

【令和4年度】

2022年4月～2023年3月版

A3判 二つ折り 見開きカラー4ページ



休館中の活動案内

【令和5年度】

2023年4月～2024年3月版

A3判 二つ折り 見開きカラー4ページ

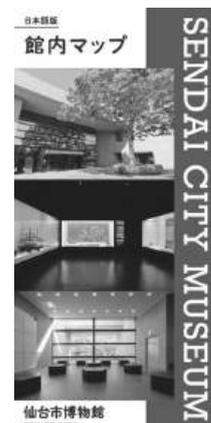


休館中の活動案内

(3) 館内マップ

(日本語版・英語版・簡体字版・繁体字版・韓国語版)

A4判 カラー両面2ページ ※一部、三つ折り



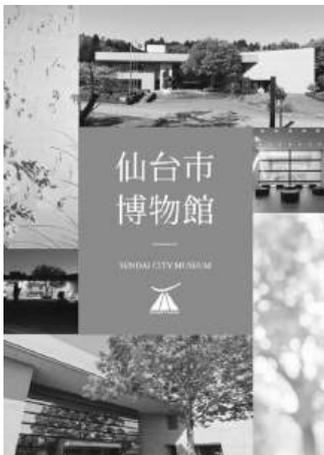
(4) 展覧会案内（令和6年度版）

A4判 三つ折り カラー2ページ



(5) 要覧

A4判 ※A3判 中綴じ カラー8ページ



※(3)～(5)は令和5年度3月末に作成

2. 広報資料の発送及び取材・記事掲載依頼への対応

マスコミ等をはじめとする関係機関による情報発信も当館広報にとって大切である。そのため各機関への情報提供として、上記広報用印刷物などを発行時に送付。また、収蔵資料等に対する各社からの取材や原稿の掲載・校正依頼、照会・回答などにも随時対応した（令和4年度は約110件、令和5年度は約210件）。

3. 「国際センター駅」への広告掲出について

当館最寄りの国際センター駅内に電照広告やデジタルサイネージを掲出。近隣の国際センターや青葉山交流広場、東北大学で行われる催しの利用者等へのPRとして活用している。

4. インターネット広報

(1) ホームページ

博物館の利用案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、伊達政宗、支倉常長をはじめとする主な収蔵資料約50件の情報を閲覧できるコーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

当館ホームページ（トップページ）のアクセス数は、令和4年度は426,014件、令和5年度は468,213件であった。休館中のイベント情報や改修工事についての情報源として一定の需要があり、情報提供の場として重要な役割を担った。

(2) おうちで楽しむ仙台市博（ホームページ・YouTube）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的な外出自粛などの状況があることや改修工事による休館をふまえ、博物館の企画を自宅等でもご覧いただけるように、ホームページ・YouTubeを通じた情報発信を行った。

①伊達武将隊と行く！はっけん！仙台市博物館

令和2年度から「伊達武将隊」と当館学芸員が特集展示及び館内資料の魅力などを紹介する動画を制作し、せんだいTube（仙台市公式動画チャンネル）で配信している。仙台の歴史・文化・美術など多様な視点から資料の魅力に触れ、より多くの人に興味を持っていただく機会とした。

令和4・5年度は館内資料の魅力を紹介する「お出掛け編〈大橋〉」や「お出掛け編〈仙台城登城〉」、「仙台城石垣編」や「仙台橋擬宝珠編」を制作した。



・お出掛け編〈大橋〉

伊達武将隊の政宗様と当館職員が博物館を飛び出し、博物館周辺をめぐる。昔の絵図をたどりながら、博物館を出発し、大橋周辺の歴史を紹介。



・お出掛け編〈仙台城登城〉

伊達武将隊の政宗様と当館職員が博物館を飛び出し、博物館周辺をめぐる。昔の絵図をたどりながら、博物館を出発し、仙台城跡を紹介。



・仙台城石垣編

伊達武将隊の政宗様と当館職員が博物館を飛び出し、博物館周辺をめぐる。「石垣」をテーマに、仙台城の北壁石垣を紹介。



・仙台橋擬宝珠編

伊達武将隊の政宗様と当館収蔵資料「仙台橋擬宝珠」を紹介。



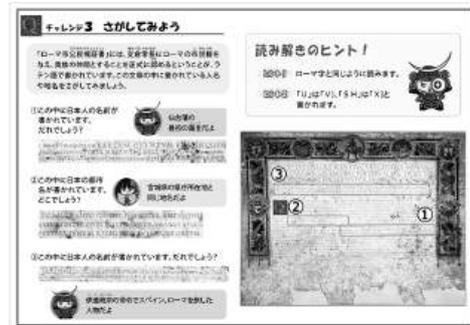
②「のぞいてみよう参勤交代—仙台藩 お殿さまの旅」

休館中で来館できない子供たちが、仙台の歴史を知る機会となるように、学校でも活用できる動画を館職員で自作した。令和4・5年度は、社会科で活用できる動画として、「楽山公行列図巻」をもとに、参勤交代のようすを学ぶことができる動画2本をせんだいTubeで配信。



③チャレンジ!おうちで楽しむ博物館(ホームページ)

児童生徒の学習へ役立ててもらうために、ホームページに「チャレンジ!おうちで楽しむ博物館」を掲載している。自宅でも楽しみながら取り組める「もんきりがた遊び」や郷土玩具づくりなどの工作の紹介や、収蔵資料に関するクイズのページがある。



(3) ツイッター(現「X」)

平成27年12月5日(土)から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の特徴である即時性・

拡散性を活かし、展覧会やイベント等の情報を発信。また、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示資料の紹介や歴史のこぼれ話などもツイートしている。フォロワー数は、令和4年度末時点で約5,340人、令和5年度末時点で約5,830人。休館中は、館外でのイベント案内を中心に、改修工事の進捗状況、所蔵資料の紹介、館周辺の自然や季節の移ろいの紹介、出前講座・授業の報告など様々なトピックスを取り上げ随時発信した。今後も利用者の興味関心に訴える情報提供を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努める。



博物館ツイッターでの配信記事

5. ポケット学芸員

スマートフォン向けガイドアプリ「ポケット学芸員(Pocket Curator)」を令和3年11月8日(月)から導入した。スマートフォンやタブレット等を使って館蔵資料の解説を文字や音声、画像で知ることができる。休館中も多くの方に利用していただき博物館への興味関心を広げ、再開館後の誘客促進にもつなげる。なお、このアプリは早稲田システム開発(株)(Waseda System Development)の提供システムであり、無料で利用することができる。



6. 仙台市博物館収蔵資料データベース

博物館が収蔵する資料の情報や写真を紹介するデータベース (<https://jmapps.ne.jp/scm/>) を、令和6年3月26日(火)からインターネットで公開した。本データベースは、早稲田システム開発(株)が提供す

るクラウド型収蔵品管理システムで、パソコンや携帯電話から、重要文化財「伊達家文書」をはじめ、仙台の歴史・美術・工芸に関する約4,000件の資料を、デジタルデータでいつでも自由に閲覧できる。公開件数は今後も随時追加していく予定である。

令和5年度公開資料 4,057件

- ①国宝「慶長遣欧使節関係資料」 63件
- ②重要文化財「伊達家文書」 1,050件
- ③重要文化財「伊達家印章」 127件
- ④仙台市博物館館蔵名品図録改訂版 91件
- ⑤仙台市博物館収蔵資料図録②服飾
改訂版 125件
- ⑥仙台市博物館収蔵資料図録④木漆工 135件
- ⑦仙台市博物館収蔵資料図録⑤仙台藩の絵画
改訂版 122件
- ⑧仙台市博物館収蔵資料図録⑥武器武具
改訂版 132件
- ⑨仙台市博物館収蔵資料図録⑧斎藤報恩会寄贈資料 1,222件
- ⑩仙台市博物館収蔵資料図録⑨伊達政宗文書
42件
- ⑪伊達治家記録(獅山公、忠山公、徹山公、桂山公、紹山公、英山公、正山公、龍山公、樂山公)
388件
- ⑫古写真 105件
- ⑬絵ハガキ 338件



収蔵資料データベース



収蔵資料データベース
二次元コード

刊行物・グッズ等

令和4・5年度は、下記のとおり刊行物を発行した。(市史活用推進事業で作成された刊行物については、「7. 市史活用推進事業」参照)

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、水玉模様陣羽織デザインハンカチ(令和4・5年度)、山形文様陣羽織デザインハンカチ(令和5年度)の製作を行った。

1. 刊行物

【令和4年度】

- (1) 「仙台市博物館調査研究報告」第43号
令和5年3月31日発行 B5判 64頁



調査研究報告第43号

【令和5年度】

- (1) 「仙台市博物館調査研究報告」第44号
令和6年3月31日発行 B5判 75頁
- (2) 「仙台市博物館開館60周年記念企画雑誌
推しごと!まるごと!仙台市博物館」
令和6年2月29日発行 A4判 48頁



調査研究報告第44号



推しごと!まるごと!
仙台市博物館

令和5年度は年報の発行を行わなかった。

2. オリジナルグッズ

令和4・5年度の販売用製作は以下のとおり。

- (1) 水玉模様陣羽織デザインハンカチ (950円)



ハンカチ (水玉模様陣羽織デザイン)

- (2) 山形文様陣羽織デザインハンカチ (1,100円)



ハンカチ (山形文様陣羽織デザイン)

5. 調査・研究

【令和4年度】

令和4年度「仙台市博物館調査研究報告」第43号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

資料紹介 篁峯寺蔵水晶六角五輪塔について

大内 直輝

宮城県涌谷町の天台宗無夷山篁峯寺には、坂上田村麻呂の兜に装着されていたものと伝えられている水晶製の六角五輪塔が所蔵されている。本稿では、篁峯寺での調査をもとにしてこの五輪塔の資料紹介を行い、また、これまでまとまった形で紹介されることが少なかった水晶六角五輪塔の遺品についても併せて紹介した。さらに、その上で篁峯寺の作例がどのように位置づけられるかについて、少しではあるが考察を試みた。

資料紹介 伊達政宗文書・新補遺(一)

明石 治郎、村岡 淳子

本稿は、これまで伊達政宗発給文書(「伊達政宗文書」)を悉皆調査するという目標を掲げ、その成果を紹介してきた『仙台市史 資料編 伊達政宗文書』全4巻、『市史せんだい』Vol.17~30所収の「史料紹介 伊達政宗文書・補遺」(一)~(十四)を受け継ぐもので、本誌を掲載誌として新たにシリーズ化しようとする第一弾である。今回は13点の新出資料の翻刻と写真図版、1点の新調査資料の写真図版を掲載した。

仙台北城下絵図の年代について

—仙台市博物館所蔵絵図を対象に—

水野 沙織

仙台市博物館では、仙台藩領を描いた貴重な絵図の寄贈が相次いでおり、仙台北城下を描いた絵図が充実を見せている。本稿では、新収蔵資料を含めた当館が所蔵する仙台北城下絵図を対象に、描かれた情報や絵図の比較分析を通して景観年代の推定を行った。また、宝暦・天明の飢饉以降に増加した城下北東部・東部の武家地の明屋敷(空き家)が、田畑に転用されることで減少し、実質的な城下の範囲(居住域)が縮小していることを指摘した。

仙台市博物館学校向け学習プログラムの現状と展望
—社会科・総合的な学習の時間に関連する内容を
中心に—

村上 聡

仙台市博物館では、博物館を活用した教職員の授業づくりや児童生徒の学習活動のサポート等を目的として、学校向け教育・普及事業を展開している。本稿では、その取り組みの一つである学習プログラム(特に社会科・総合的な学習の時間に関連する内容)を取り上げ、これまでの取り組みを整理、紹介した。また、取り組みのさらなる発展と充実を図るため、現在の課題を明らかにするとともに、今後の展望についても検討した。

◇令和5年度研究テーマ◇

令和5年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

仏教彫刻・工芸史の研究	酒井昌一郎
近世の仙台藩・伊達家及び絵図の研究	水野 沙織
近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中近世の庶民信仰美術、東北地方の絵画の研究	寺澤 慎吾
中世・近世の絵画および東北の工芸について	小田嶋なつみ
中世・近世の領主権力の研究	黒田 風花
中世・近世の仏教関係の工芸品の研究	大内 直輝
社会科における博物館の活用について	村上 聡
図画工作科・美術科における博物館の活用について	相原裕起子

【令和5年度】

令和5年度「仙台市博物館調査研究報告」第44号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

仙台藩の野始について

菅原 美咲

仙台藩の正月行事である野始について、主に伊達治家記録を中心に通史的に分析した。元禄期以前までは、藩主在府時も一門を名代として野始を実施していたこと、生類憐れみ令の前後および廃止以後における野始の内容の変化、近世後期の凶作や儉約に伴う行事の中止の増加などを明らかにした。あわせて、野始絵図と城下近郊の狩場に関する絵図を分析し、描かれた場所の特徴や内容について明らかにした。

伊達輝宗の花押

黒田 風花

伊達輝宗発給文書の実物や影写、写真等を調査し、輝宗の代表的な花押と同一のものとみられてきた花押が使われた文書を検討し、この花押が家中宛書状のみで用いられた型であることを明らかにした。また、輝宗がほかの花押も宛所によって使い分けていた可能性を指摘し、輝宗の花押や印判の使い方については宛所との関係を含めて再検討する必要があることを課題として提示した。

中世・近世の領主権力の研究

黒田 風花

中世・近世の仏教関係の工芸品の研究

大内 直輝

社会科における博物館の活用について

永山 達郎

図画工作科・美術科における博物館の活用について

相原裕起子

資料紹介 伊達政宗文書・新補遺（二）

明石 治郎、村岡 淳子

本稿は、前号に引き続き『仙台市史 資料編 伊達政宗文書』全4巻、『市史せんだい』Vol.17～30所収の「史料紹介 伊達政宗文書・補遺」（一）～（十四）に未掲載の新出資料を新補遺として紹介するものである。今回は12点の新出資料の翻刻と写真図版、9点の新調査資料の写真図版を掲載した。

仙台藩最後の御用絵師・佐久間晴岳

—その生涯と重要作品を中心に—

寺澤 慎吾

本稿は、仙台藩最後の御用絵師の一人、佐久間晴岳の事績や重要作品について紹介したもの。西公園にある晴岳碑をもとに、幕末・明治の激動の時代を生きた一人の絵師の生涯をたどるとともに、画期となる時期の作品を提示した。単に狩野派の絵師ということだけでなく、父の冥福を祈って制作した作品や自娛のためにも絵を描いたという側面があり、また、教育者としても活躍した晴岳の人物像の一端を示した。

◇令和6年度研究テーマ◇

令和6年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

仏教彫刻・工芸史の研究

酒井昌一郎

近世の仙台藩・伊達家及び絵図の研究

水野 沙織

中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究

佐々木 徹

中近世の庶民信仰美術、東北地方の絵画の研究

寺澤 慎吾

中世・近世の絵画および東北の工芸について

小田嶋なつみ

表10 仙台市博物館調査研究報告一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No. 1	1. 仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 2. 仙台北丸の障壁画をめぐって 3. 大槻磐溪書翰集について 4. 伊達政宗の印章・印影について 5. 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No. 2	1. 養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 2. 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 3. 伊達家旧蔵の印章について 4. (史料紹介) 宮城県の自由民権運動に関する新史料 5. 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No. 3	1. 角懸鹿谷の美術 2. 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 3. 大槻俊斎の書状について 4. 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No. 4	1. 仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析 2. 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 3. 伊達政宗・伊達忠宗所用兎の銘について 4. 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No. 5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・鈴木治平	昭和60年3月 完売
No. 6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No. 7	1. 円山応挙試論 2. 伊達の黒箱文書について 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 4. 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No. 8	1. ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 2. 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 3. 「支倉常長追放文書」の年代について 4. 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ 5. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No. 9	1. 新博物館への一考察－反省と展望－ 2. 学校教育における博物館利用学習 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 4. 仙台藩関係の婚礼調度について 5. 慈光明院蔵 種子華鬘について 6. 柴田町金谷貝塚出土の權杖木製品 7. 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 8. 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	1. 東北地方における山伏笈 2. 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 3. 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 5. 館蔵考古資料の紹介 I 6. トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	1. 「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について 2. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 3. 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 4. 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 920円
No.12	1. 戦国期奥羽の在家をめぐって 2. 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 3. 朱罨漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 5. 画像情報提供装置の導入について 6. 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 7. 仙台北城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	1. 東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 2. 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 3. 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.14	1. 観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 2. 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一面－ 3. 東京国立博物館所蔵の「小袖図」（伊達家旧蔵）などについて 4. 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 5. 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	1. 『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 2. 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 3. 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 4. 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 5. 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 6. 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 7. 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	1. 「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 2. 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 3. 「古川状」について 4. 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 5. 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 920円
No.17	1. 博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 2. 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 3. 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 4. 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 5. 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	1. 円爾弁門最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一面－ 2. 仙台藩の小人について 3. 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 920円
No.19	1. 伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 2. 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 4. 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	1. 新収資料・国分家資料について 2. 伊達家文書の形成過程(一) 3. 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 4. 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 5. 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 920円
No.21	1. 百富士画をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 2. 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 920円
No.22	1. 仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 2. 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 3. 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について 4. ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 5. 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 920円
No.23	1. 陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 3. 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 4. 仙台市博物館における広報活動について 5. 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 920円
No.24	1. 仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ 2. もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 920円
No.25	1. 絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 2. 伊達氏における印判状の成立 3. 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	1. ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報効会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 2. 伊達家文書の形成過程(二) 3. 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 4. 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.27	1. 陸奥国分寺の仏像―主に表面仕上げに関するデータから― 2. 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介―10周年を迎えて― 3. 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 920円
No.28	1. 支倉常長像の模写と写真―大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」 説の検証を兼ねて― 2. 柳宗悦と東北―昭和九年～昭和十五年― 3. 資料紹介 御証文方御本牒手控―仙台藩における資料管理の側面―	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 完売
No.29	1. 失われたみちのく図巻―谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐる― 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年3月 920円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」―伊達吉村の軍制整備との関係から― 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年3月 920円
No.31	1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について (一) 3. 新「スタディシート」の一年―その構成と活用方法を中心に― 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 920円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について―美術工芸的アプローチ― 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負戌辰記事」に関する一考察 4. 花獄神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面裝飾土器」―特に著保内野遺跡出土国 宝「土偶」との比較から―	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名夫	平成25年3月 完売
No.34	1. 屏風のなかの動物たち―伊藤若冲とその周辺作品をめぐる― 2. 資料紹介―「伊達の黒箱」文書について (二)― 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について―	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年3月 920円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」(一幅)に ついて―その成立事情と伝来の経緯― 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (上)	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年3月 920円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (下)	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年3月 完売
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前蓑」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について ―制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に― 3. 資料紹介 仙台藩土猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 ―仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録―	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年3月 完売
No.38	1. 秋田蘭画再考―実景との関わりを中心に― 2. 仙台藩の贈答―江戸中・後期を中心に― 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年3月 1,020円
No.39	1. 光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について 2. 戦国期南奥羽の流通と交通 3. 戦国期伊達氏家臣についての一考察 4. 市内小学生における仙台市博物館の利活用の現状と展望 ―児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して―	小田嶋なつみ 長澤伸樹 黒田風花 大久保裕隆・高 橋龍馬・永山達 郎・村田智朗・ 土井謙治	平成31年3月 完売
No.40	1. 仙台祭絵の研究 2. 資料紹介 「鷹匠半澤家資料」について 3. 伊達政宗の「捻」 4. 佐久間洞巖について	浅野秀剛 菅原美咲 明石治郎 寺澤慎吾	令和2年3月 1,020円
No.41	1. 仙台市国分尼寺観音菩薩立像の墨書銘について 2. 仙台藩儒役遊佐家の事跡―資料レスキュー活動による保全資料の紹介― 3. 戊辰戦争時の仙台藩の軍 4. 資料紹介 刀工本郷国包関係資料について	佐々木徹 倉橋真紀 中武敏彦 酒井昌一郎	令和3年3月 920円
No.42	1. 瑞巖寺本堂障壁画の芍薬―園芸熱を背景とする品種の描き分けについて― 2. 伊達氏の徳政 3. 伊達政宗の書状―形態と数量― 4. 資料紹介 伊達政宗子息発給書状 5. 戦前期、仙台市の観光行政と「杜の都」の確立	樋口智之 長澤伸樹 村岡淳子 黒田風花 中武敏彦	令和4年3月 1,100円

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.43	1. 篁峯寺蔵水晶六角五輪塔について 2. 資料紹介 伊達政宗文書・新補遺(一) 3. 仙台城下絵図の年代について―仙台市博物館所蔵絵図を対象に― 4. 仙台市博物館学校向け学習プログラムの現状と展望 ―社会科・総合的な学習の時間に関連する内容を中心に―	大内直輝 明石治郎・村岡 淳子 水野沙織 村上聡	令和5年3月1,000円
No.44	1. 仙台藩の野始について 2. 伊達輝宗の花押 3. 資料紹介 伊達政宗文書・新補遺(二) 4. 仙台藩最後の御用絵師・佐久間晴岳―その生涯と重要作品を中心に―	菅原美咲 黒田風花 明石治郎・村岡 淳子 寺澤慎吾	令和6年3月1,000円

(価格および内容については令和6年4月1日現在、以下続刊)

6. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の8・9年目となる令和4・5年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

また、前年度から引き続いて、市史編さん収集資料の一部について、(仮称)仙台市公文書館(令和5年度開館)を所管する文書法制課への次年度の移管準備を進めた。今後も公文書館での利活用が期待される資料については移管を行う予定である。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。

令和4年度は「歴史の中の生出村」「蒲生の移り変わり」、令和5年度は「景観から探る中山地区の歴史」「近世武士と狩り」をテーマに、下記の通り実施した。

【令和4年度】

①第43回仙台市史講座

演題：「歴史の中の生出村」

講師：仁昌寺正一氏(東北学院大学名誉教授)

日時：令和4年10月21日(金) 10:00~11:10

会場：生出市民センター 第1・第2講義室

受講者：31人

②第44回仙台市史講座

演題：「蒲生の移り変わり～近世から近代へ～」

講師：畑井洋樹氏

(仙台市歴史民俗資料館学芸室長)

日時：令和5年2月18日(土) 13:30~14:40

会場：宮城野区中央市民センター 第3会議室

受講者：47人



市史講座の開催状況(第43回)



市史講座の開催状況(第44回)

【令和5年度】

①第45回仙台市史講座

演題：「景観から探る中山地区の歴史」

講師：竹原万雄氏(東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料科学研究部門助教)

日時：令和5年7月29日(土) 13:30~15:00

会場：中山市民センター 会議室

受講者：30人

②第46回仙台市史講座

演 題：「近世武士と狩り—仙台藩の事例—」

講 師：堀田幸義氏

(宮城教育大学大学院教育学研究科教授)

日 時：令和6年2月24日(土) 10:30~12:00

会 場：吉成市民センター 2階会議室

受講者：42人



市史講座の開催状況 (第45回)



市史講座の開催状況 (第46回)

(2) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各図書館を会場に実施している。令和4年度は「本で味わうお酒の歴史」、令和5年度は「杜の都をPRせよ!」「歴史をめぐり、自分と出会う」をテーマに、歴史講話(博物館担当)とブックトーク(図書館担当)を行った。

【令和4年度】

テーマ：「本で味わうお酒の歴史

～仙台とお酒の物語～」

講 師：阿部充氏(仙台市民図書館司書)

水野沙織(当館学芸普及室長)

日 時：令和4年11月26日(土) 18:45~20:00

会 場：仙台市民図書館 3階フロア

(せんだいメディアテーク内)

受講者：32人



「本で味わうお酒の歴史」の開催状況

【令和5年度】

①テーマ：「杜の都をPRせよ!

～観光作戦と政宗騎馬像～」

講 師：服部佳子氏(仙台市太白図書館職員)

中武敏彦(当館職員)

日 時：令和5年9月23日(土・祝)

13:30~15:00

会 場：太白区中央市民センター 3階大会議室

受講者：43人

②テーマ：「歴史をめぐり、自分と出会う

一家の歴史の作り方、綱村の場合」

講 師：柴田雅子氏・山根彩子氏

(仙台市榴岡図書館職員)

明石治郎(当館職員)

日 時：令和5年11月26日(土) 13:30~15:00

会 場：仙台市生涯学習支援センター 5階

第一セミナー室A・B・C

受講者：45人



「杜の都をPRせよ!」の開催状況



「歴史をめぐり、自分と出会う」の開催状況

2. 刊行物

【令和4年度】

完売及び品薄となっていた『「仙台市史」活用資料集』vol.6・vol.7をそれぞれ増刷した。また、ユニバーサルデザインの一環として、伊達政宗の生涯について、子ども向けに発行した『よくわかる！伊達政宗』（平成29年7月1日発行）を、点字と拡大文字を用いて内容を一部改訂し、弱視や全盲など視覚障害者が利用できる冊子として作成した。冊子は視覚支援学校のほか、市内図書館などに配布した。

- (1) 『「仙台市史」活用資料集vol.6
太白区の歴史探し—東部—』700部発行
令和4年7月31日 第2刷発行 A4判 16頁
- (2) 『「仙台市史」活用資料集vol.7
青葉区の歴史探し—西部—』700部発行
令和4年7月31日 第2刷発行 A4判 16頁
- (3) 点字拡大文字版『よくわかる！伊達政宗』
150部発行 令和5年1月31日発行
A4判変型 22頁



点字拡大文字版『よくわかる！伊達政宗』

【令和5年度】

該当なし

3. 広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきた。令和4年4月号から令和5年7月号にかけて、「のぞいてみよう！せんだいの歴史 暮らし編」という題で、仙台の歴史や美術を様々な切り口で紹介した。令和5年8月号以降は「のぞいてみよう！せんだいの歴史 伊達騒動編」という題で、伊達騒動の経緯や関連人物などについて紹介した。

また、執筆は学芸普及室および学芸企画室の職員が担当した。内容、執筆者は次の通り。

【令和4年度】

- 4月号「たばこ」（中武敏彦）
- 5月号「村の日常—働く・休む—」（倉橋真紀）
- 6月号「仙台藩主と酒」（黒田風花）
- 7月号「俳諧—仙台藩ゆかりの俳人たち」（寺澤慎吾）
- 8月号「仙台の動物園」（阿部さやか）
- 9月号「明治時代の仙台市内の小学校」（村上聡）
- 10月号「仙台藩の秋の味覚・サケ」（菅原美咲）
- 11月号「姫君の晴れの日を飾った調度」（小田嶋なつみ）
- 12月号「地下鉄南北線の開業」（二上玲子）
- 1月号「二十四節気と冬の遊び」（飯淵泉）
- 2月号「仙台城下の防火活動」（水野沙織）
- 3月号「政宗の一日」（明石治郎）

【令和5年度】

- 4月号「災害と地域に生きた人々」（菅原美咲）
- 5月号「仙台で開催された博覧会」（阿部さやか）
- 6月号「伊達政宗と花」（樋口智之）
- 7月号「住まいと「杜の都」」（中武敏彦）
- 8月号「伊達騒動のはじまり～万治事件」（黒田風花）
- 9月号「伊達綱宗の隠居生活」（寺澤慎吾）
- 10月号「三沢初子—伊達綱村の母—」（明石治郎）
- 11月号「後見人体制と藩内の不和」（菅原美咲）
- 12月号「奉行が多すぎる」（倉橋真紀）

- 1月号「仙台北城下絵図からたどる伊達騒動」
(水野沙織)
- 2月号「境界争いと刃傷事件」(菅原美咲)
- 3月号「政岡の「飯炊き」を描いた浮世絵」
(大内直輝)

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施することが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

(1) 主な調査先・資料群

【令和4年度】

泉区／満興寺
東京都／東京大学史料編纂所
神奈川県／特定非営利活動法人clanse

【令和5年度】

宮城県／石巻市博物館・角田市郷土資料館
岩手県／一関市博物館
東京都／ふじもと・長良川画廊・森井書店
岐阜県／岐阜関ヶ原古戦場記念館
愛知県／寿山庵
京都府／ギャラリー創
兵庫県／兵庫県立歴史博物館

(2) 寄贈資料

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

【令和4年度】

山路伸一／朴沢村仙台北藩士山路家文書／145件
田村良子／五色筆（小村長三郎作）／2件
浄土寺／荒浜浄土寺文書／51件
長尾文宏／茂庭長尾家資料／24件
生出市民センター運営協力委員会／茂庭村・坪沼村絵図／2件

【令和5年度】

受入なし

(3) 購入資料

【令和4年度】

- ①栄心院様御家作老躰之御絵図 1鋪
- ②仙台北藩関係資料 一括
- ③中道記 1冊
- ④近代宮城県景観関係資料 一括
- ⑤仙台北藩火消記録 一括

【令和5年度】

- ①礎綱一座興行刷物 1枚
- ②仙台北城下北部絵図 1枚
- ③伊達家御家中法制文書 一括
- ④御蔵方石川理兵衛献策集 3冊

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

令和3年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動（整理・保全等）を行い、整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

また、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネルや災害の歴史に関わるパネル展示を、令和4・5年度も引き続き行った。

大規模改修工事による長期休館のため、館内でのパネル展示は実施していないが、仙台市教育センターでは、震災関連パネルの貸し出しの周知や、市史編さん事業の成果品を紹介し、授業等で活用してもらえよう教職員向けにパネル展示を行うなど、他機関・他施設での展示に力を入れた。

詳細は下記、活動状況を参照されたい。

その他、令和4年度に経年劣化により使用困難となっていたパネル8枚の再制作を行った。令和5年には既存パネル「地震と仙台北城」を小中学生向けに再構成したパネルの制作を行っている。

(1) 活動状況

【令和4年度】

- ①令和4年7月27日(水)～8月24日(水)
パネル展「仙台市博物館出張パネル展示
仙台市内の災害の歴史」
(会場：仙台市教育センター)

- ②令和5年3月4日(土)
「仙台北防災未来フォーラム2023」ブース出展
パネル展「仙台市域の災害
—弥生時代から現代まで—」
博物館ブース来場者：159人

『『仙台市史』活用資料集』 販売数計：38冊
「仙台市博物館の資料レスキュー活動」
配付数計：5冊

(会場：仙台国際センター展示棟)

③令和5年3月25日(土)～4月21日(金)

パネル展「土地の記憶を未来へ伝える」

※①蒲生・荒浜地域の江戸時代から現代(東日本大震災)までの変遷、②高砂地域の昭和から平成までの風景写真、③休館中の博物館の活動紹介の3件を展示

来館者数：3,906人

(会場：3.11メモリアル交流館)

【令和5年度】

①令和6年7月21日(金)～8月25日(金)

パネル展「仙台市博物館出張パネル展示

仙台市内の災害の歴史」

(会場：仙台市教育センター)

②令和6年3月9日(土)

「仙台防災未来フォーラム2024」ブース出展

パネル展「仙台城と地震被害—仙台市域の災害—」

博物館ブース来場者：183人

『『仙台市史』活用資料集』 販売数計：22冊

「仙台市博物館の資料レスキュー活動」

配付数計：3冊

(会場：仙台国際センター展示棟)

③令和6年3月2日(土)～3月20日(水・祝)

パネル展「仙台平野の地震と津波」

来館者数：6,042人

(会場：仙臺緑彩館)

6. 資料移管

仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに提出された提言書(平成21年3月、平成25年8月)において、仙台市が公文書館を設置し、仙台市史編さん事業で収集した資料や情報を利活用すべきことが提言されている。この度、仙台市公文書館が開設される運び(令和5年7月)となったことから、同館を所管する文書法制課へ、仙台市史編さん収集資料のうち公文書館での利活用が期待される資料について順次移管を行っている。令和4・5年度は、次年度以降移管予定の資料について準備作業を行い、引き続き同課と協議を行った。また、赤石収蔵庫の新設に伴い、令和4年度に野村収蔵庫より同課へ移管予定の資料を移動し、集約している。

なお、移管した資料は、歴史的公文書として保存・公開される予定である。

7. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア(三の丸会)」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は令和5年で26年目を迎え、登録者は、令和4年度が83名、令和5年度が72名であった。

ボランティア活動は通常、活動班(各班10人～11人の12班編成)に分かれ、月に2回程度活動してきた。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭(三の丸跡)案内をしてきた。(令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため、資料解説等を中心とする活動は休止した)また、会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われてきた。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定してきた。(令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため、役員会の開催は春季と秋季の2回とし、総会は書面開催とした)

ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、平成29年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

令和4・5年度は大規模改修工事による休館のため、新規ボランティアの募集は行わなかった。

また、養成講座についても開催しなかった。

2. 活動の経過

【令和4年度】

令和4年度の三の丸会は、当館の大規模改修工事による休館に合わせて引き続き休会したため、組織的な活動は行わず、各部・各班による活動や、会主催の学習会を実施し、再開館後の活動再開に向けて、会員が各自で学ぶ機会を確保することを基本方針とし

て活動を展開した。

学習会は、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設を会場とし、館関係者や郷土史家などを講師に招きして全5回開催した。

第1回学習会

日時：令和4年6月4日(土) 10:30～12:00

講師：佐々木徹氏(仙台市文化財課)

内容：慶長遣欧使節について

第2回学習会

日時：令和4年8月27日(土) 14:00～16:30

講師：木村浩二氏(せんだいコンセキ発掘塾)

内容：陸奥国分寺・尼寺について

第3回学習会

日時：令和4年11月12日(土) 14:30～16:00

講師：菅野正道氏(郷土史家)

内容：伊達政宗の城郭意識について

第4回学習会

日時：令和5年1月30日(月) 10:00～11:30

講師：中武敏彦(当館学芸企画室)

内容：伊達政宗の騎馬像と杜の都仙台の確立について

第5回学習会

日時：令和5年3月25日(土) 14:00～15:30

講師：金森安孝氏(元当館副館長)

内容：二つの大手門～発掘調査で解く政宗の仙台城

【令和5年度】

令和5年度の三の丸会は、各部・各班による活動や、館主催の会員向け講座を実施し、再開館後の活動再開に向けて、会員が各自で学ぶ機会を確保することを基本方針として活動を展開した。

会員向け講座は、宮城野区中央市民センターを主な会場とし、宮城県美術館講堂や当館ギャラリーなどでも開催した。なお、講師は当館学芸員が担当し、全8回開催した。

第1回講座

日時：令和5年6月16日(金) 10:00～12:00

講師：寺澤慎吾(当館学芸企画室)

内容：県美展見所解説&絵画

第2回講座

日時：令和5年8月9日(水) 14:00～15:30

講師：黒田風花(当館学芸企画室)

内容：中世の伊達氏・伊達政宗・慶長遣欧使節

第3回講座

日時：令和5年10月11日(水) 14:30~16:00

講師：小田嶋なつみ(当館学芸普及室)
鈴木かおる(当館学芸企画室)

内容：武器・武具・焼き物・漆・染織・人形

第4回講座

日時：令和5年11月8日(水) 14:00~15:30

講師：菅原美咲(当館学芸企画室)

内容：仙台城・仙台藩の要害

第5回講座

日時：令和5年12月6日(水) 14:00~15:30

講師：水野沙織(当館学芸普及室)

内容：仙台北下のあゆみ・戊辰戦争

第6回講座

日時：令和6年1月12日(金) 14:00~15:30

講師：中武敏彦(当館学芸企画室)

内容：軍都・学都・杜の都

第7回講座

日時：令和6年2月9日(金) 14:00~15:30

講師：村上聡(当館学芸普及室)

三の丸会執行部

内容：再開館後の博物館

再開館後のボランティア活動について

3. 博物館主催による主な研修

【令和4年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、館主催の研修会は開催しなかった。なお、休館後の会員の学びの機会を確保することを目的とした三の丸会主催の学習会(第4回、令和5年1月30日(月)開催)に、館職員を講師として派遣した。

【令和5年度】

新型コロナウイルス感染症の第5類以降に伴い、活動の制約も少なくなったことから、会員向け講座を全8回開催した。

4. ボランティアと博物館との懇談会

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、例年実施しているボランティアと博物館との懇談会は開催することができなかった。一方、館関係者と会役員が今後の活動方針等について協議する「臨時協議会」を開催した。

【令和4年度】

・令和4年12月14日(木)

・令和5年3月23日(木)

【令和5年度】

・令和5年11月13日(月)

5. ボランティア新規会員との懇談会

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、例年実施しているボランティア新規会員との懇談会は開催することができなかった。

6. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。休館中も各部が計画を立て、参加希望者を中心として活動を継続する予定。

表11 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

<三の丸会部会主催による主な研修>

令和4・5年度は、大規模改修工事による休館のため、例年実施している新規会員向け研修、館外研修(ボランティア三の丸会研修旅行)、研修部主催・教養講座等の研修会は、開催することができなかった。

8. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（会費1口5,000円）・普通会員（会費3,000円）・学生会員（会費2,000円）からなる。令和4・5年度は、仙台市博物館が休館中のため、令和3年度会員の有効期限を令和5年度までの3年間として新規の会員募集は行わなかった。会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されている。令和4年度は8回、令和5年度は9回の役員会が開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、見学セミナーや研修会を企画・立案する研修委員会、講座や広報セミナーの司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ活動を行った。

会の事業実績は、右記のとおりである。令和4年度は、館職員講座を1回、前副館長講演会を1回、見学セミナーを1回実施した。令和5年度は、館職員講座を3回、見学セミナーを1回実施した。休館中であったため、いずれの行事も館外での開催となったが、多くの会員の参加を得ることであった。

表12 令和4・5年度会員内訳(令和6年3月31日時点)

	性別	年代	人数(人)	
賛助会員	—	—	18	
普通会員	男性	10代	0	102
		20代	0	
		30代	0	
		40代	1	
		50代	9	
		60代	27	
		70代	30	
		80代	14	
		90代	0	
	不明	21		
	女性	10代	0	108
		20代	0	
		30代	0	
		40代	0	
		50代	10	
60代		28		
70代		40		
80代		20		
90代	0			
不明	10			
不明	—	—	8	
学生会員	—	—	1	
計			237	

【令和4年度】

1. 総会

5/27 資料発送による書面表決

2. 事業

(1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
196号～198号 計3号

(2) 行事

11/16 見学セミナー 東北歴史博物館
同行 小田嶋なつみ(当館学芸員)
大内直輝(当館学芸員) 参加35人

12/12 博物館職員講座
「仙台の三十三観音」
講師 酒井昌一郎
(当館学芸企画室室長)参加46人

1/23 前当館副館長講演会
「展覧会ができるまで
—担当学芸員 ここだけの話—」
講師 高橋あけみ(前当館副館長)
参加35人

【令和5年度】

1. 総会

4/28 資料発送による書面表決

2. 事業

(1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
199号～200号 計2号

(2) 行事

6/18 見学セミナー 宮城県美術館
同行 大内直輝(当館学芸員)
黒田風花(当館学芸員)
参加42人

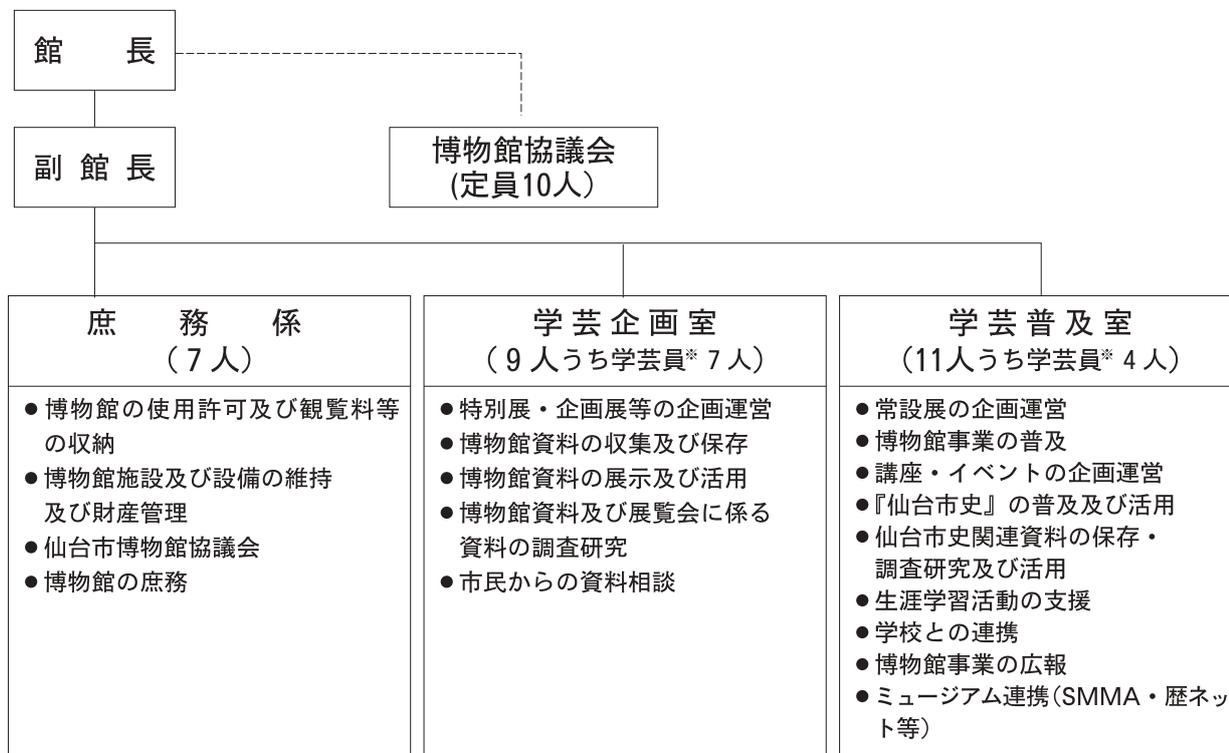
7/21 博物館職員講座
「五代藩主伊達吉村の時代を描いた
城下絵図」
講師 水野沙織(当館学芸普及室室長)
参加29人

11/16 博物館職員講座
「仙台市博物館収蔵
幕末・明治の浮世絵」
講師 大内直輝(当館学芸員)
参加15人

1/17 博物館職員講座
「伊達政宗と花と障壁画
～園芸と絵画の関わり～」
講師 樋口智之(当館副館長)
参加34名

9. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（令和5年4月1日現在）



※展示に携わった人員

予算概要

表13 令和4年度予算概要

(単位：千円)

費	目	当初予算額	摘 要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	40,110	電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	77,960	警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	5,000	機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,299	収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	14,688	教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小 計	139,057	
2 資料購入費		0	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費		2,776	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費		5,282	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費		1,939,052	大規模改修工事に要する経費
合 計		2,086,167	

※令和4年3月の福島県沖地震にかかる災害復旧費は除く

表14 令和5年度予算概要

(単位：千円)

費	目	当初予算額	摘 要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	43,150	電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	98,253	警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	4,821	機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,299	収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	27,439	教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小 計	174,962	
2 資料購入費		0	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費		11,829	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費		5,273	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費		1,453,835	大規模改修工事に要する経費
合 計		1,645,899	

職員（令和4・5年度）

館 長 今 井 吏
副 館 長 樋 口 智 之

室・係	令和4年度（令和4年4月1日現在）		令和5年度（令和5年4月1日現在）	
	職名	氏名	職名	氏名
庶務係	係長	村上 明日香	係長	村上 明日香
	総括主任	佐藤 正彦	主任査	可野 裕之
	総括主任	門馬 純子	主任	赤間 幸恵
	主事	後藤 絢香	主事	菅野 絢香
	会計年度任用職員	遠藤 遼亮	会計年度任用職員	遠藤 遼亮
	会計年度任用職員	小岩 育子	会計年度任用職員	小岩 育子
	会計年度任用職員	畑中 霞奈	会計年度任用職員	佐藤 健喜
	会計年度任用職員	白河 祐子		
学芸企画室	室長	酒井 昌一郎	室長	酒井 昌一郎
	主任	菅原 美咲	主任	菅原 美咲
	主事	小田嶋 なつみ	主事	寺澤 慎吾
	主事	大内 直輝	主事	大内 直輝
	主事	黒田 風花	主事	黒田 風花
	会計年度任用職員	明石 治郎	会計年度任用職員	明石 治郎
	会計年度任用職員	鈴木 かおる	会計年度任用職員	鈴木 かおる
	会計年度任用職員	中武 敏彦	会計年度任用職員	中武 敏彦
	会計年度任用職員	佐藤 由夏理	会計年度任用職員	佐藤 由夏理
学芸普及室	室長	水野 沙織	室長	水野 沙織
	指導主事	飯淵 泉	指導主事	村上 聡
	指導主事	村上 聡	指導主事	相原 裕起子
	主事	寺澤 慎吾	主事	小田嶋 なつみ
	主事	田中 茉衣	主事	田中 茉衣
	会計年度任用職員	村岡 淳子	会計年度任用職員	村岡 淳子
	会計年度任用職員	氏家 文枝	会計年度任用職員	氏家 文枝
	会計年度任用職員	二上 玲子	会計年度任用職員	二上 玲子
	会計年度任用職員	倉橋 真紀	会計年度任用職員	倉橋 真紀
	会計年度任用職員	長澤 伸樹	会計年度任用職員	長澤 伸樹
	会計年度任用職員	阿部 さやか	会計年度任用職員	阿部 さやか

仙台市博物館協議会

令和4～5年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| ◎尾崎 彰宏 | 東北大学総長特命教授 |
| 籠橋 俊光 | 東北大学大学院准教授 |
| 鹿又 喜隆 | 東北大学大学院教授 |
| 齋藤 敦子 | 仙台市立広瀬小学校校長 |
| 佐治ゆかり | 秋田公立美術大学教授 |
| 佐藤 憲子 | 仙台市放課後子ども教室 遠見塚
YOU-GOクラブ コーディネーター |
| 高橋 卓誠 | 仙台市議会議員 |
| 伊達 泰宗 | 伊達家伯記念會(株)代表取締役 |
| ○長岡 龍作 | 東北大学大学院教授 |
| 森 美智子 | 東北学院大学名誉教授 |

令和4年度 協議内容

○第1回 令和4年5月24日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 大規模改修工事について
 - (2) 大規模改修工事による休館中の博物館活動について
 - (3) せんだいメディアテークでの体験展示「伊達政宗とお祭りひろば」(中間報告)
 - (4) 仙台国際センターでのレプリカ・パネル展示
 - (5) 教育普及事業について
 - (6) 市史活用推進事業について
 - (7) 各種機関との連携事業について

○第2回 令和5年1月31日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 大規模改修工事について
 - (2) 展示・公開について
 - (3) 教育・普及事業について
 - (4) 仙台市博物館条例の一部改正について
- 2 協議事項
 - (1) 宮城県美術館での仙台市博物館所蔵名品展の開催について
- 3 その他
 - (1) 令和5年度の博物館協議会開催日程について

令和5年度 協議内容

○第1回 令和4年5月24日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 大規模改修工事について
 - (2) 令和5年度事業計画について
 - (3) 仙台市博物館条例の一部改正について

○臨時会 令和5年10月17日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 大規模改修工事の成果について
- 2 協議事項
 - (1) 再開館記念企画展について

○第2回 令和6年1月30日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 令和5年度事業報告について
 - (2) 再開館日程と広報展開について
- 2 協議事項
 - (1) 特別展「大航海時代へーマルコ・ポーロが開いた世界ー」について
 - (2) 特別展「親鸞と東北地方の念仏(仮)」について

10. 利用状況

月別観覧者数 実績なし

施設利用状況 実績なし

講師等利用状況

表15 講師利用件数等

年度	内訳	件数 (件)				人数 (人)					
		館内		館外		計	館内		館外		計
		学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
令和4年度		0	0	26	36	62	0	0	1,623	1,663	3,286
令和5年度		0	0	27	31	58	0	0	1,986	1,401	3,387

表16 レファレンス等の状況 (件)

年度	内訳	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
令和4年度		170	80	0	232	482
令和5年度		126	119	0	177	422

表17【参考】 館外実施分含む博物館利用状況 (人)

	人数	
	令和4年度	令和5年度
観覧者数 令和4年度(せんだいメディアテークにおける体験展示、仙台城見聞館における具足レプリカ展示、福岡市博物館における特別展) 令和5年度(宮城県美術館における「伊達政宗と杜の都・仙台」)	25,800	11,938
学校・各種教育機関との連携研修	28	31
情報資料センター利用者数(電話相談等除く)	0	0
館外講師派遣 (対象人数)	3,286	3,387
仙台市史講座 (参加者数)	78	72
図書館連携講座 (参加者数)	32	43
計	29,224	15,471

視察対応状況 実績なし

11. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十三条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第二十二条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規

定を適用することができる。

附 則 (平31、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)

2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

附 則 (令5、3・改正)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則 (令5、6・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一(第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額(1人につき)
常 設	個人利用	一 般 460円
	高 校 生	230円
	小学生・中学生	110円
展	団体利用	一 般 360円
	高 校 生	180円
	小学生・中学生	90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

（平3、12・平9、3・平28、3・平31、
3・改正）

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,500円	7,200円
ギャラリー	3,900円	4,800円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の

者

- 二 酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者
(観覧券)

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。
(使用許可の手続)

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。
(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に

応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
- 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
- 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。
(使用者の遵守事項)

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること
(観覧料等の返還)

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、

それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（付帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額と同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。（経過措置）

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平27、3・改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表（第十一条関係）

（平9、3・改正）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市博物館資料取扱要綱

（平成29年1月12日教育長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、仙台市博物館（以下「博物館」という。）における、美術工芸品や歴史資料等の文化財（以下「文化財」という。）の購入、寄贈、寄託、貸出および借用等に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱における博物館資料とは、博物館が購入、寄贈等により所蔵している文化財を指す。

2 寄託資料とは、所蔵者からの寄託の申し出を受け、博物館が展示活用等のため受託した文化財を指す。

3 借用資料とは、博物館における展示や調査研究等のため、所蔵者から一時的に借用する文化財を指す。

（博物館資料等の収集方針）

第3条 博物館資料の購入、寄贈は博物館資料の収集方針（別紙1）に沿って行うものとする。また寄託についても博物館資料の収集方針に準じて行うものとする。

（購入）

第4条 仙台市博物館長（以下「館長」という。）は資料の購入にあたり、1件につき100万円以上に相当する場合、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の審議を経るものとする。

2 1件につき100万円以上に相当しない場合でも、館長が必要と認める場合は、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の意見を聴取することができる。

3 館長は、博物館資料を購入したときは、仙台市博物館資料購入台帳および仙台市が定める備品台帳に登載するものとする。

（寄贈）

第5条 館長は、文化財を寄贈しようとする者（以下「寄贈者」という。）から、資料寄贈申込書（様式1）の提出を受け、審査するものとする。

2 館長は、文化財の寄贈を受納したときは、資料寄贈受納書（様式2）を発行し、これを仙台市博物館資料寄贈台帳に登載するものとする。

3 館長は、文化財の寄贈者に対し、感謝状等によ

り感謝の意を表することができる。

(寄託)

第6条 館長は、所蔵者から文化財の寄託の申し出があった場合は、これを受託することができる。

- 2 館長は、文化財を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）から、資料寄託申込書（様式3）の提出を受け、審査のうえ可否を決する。
- 3 館長は、文化財を寄託者から受領したときは、寄託者に資料受託書（様式4）を発行するとともに、仙台市博物館寄託台帳に登載するものとする。
- 4 寄託資料の受託期間は原則として1年度以内とし、寄託者から特に申し出がない限り、必要に応じて更新できるものとする。
- 5 寄託の更新手続きは年度ごとに行ない、原則として前年度末の3月末日までに寄託者に更新通知を行うものとする。
- 6 寄託資料の受け入れ時および返還時の輸送または修理については、寄託者の負担とする。ただし、館長が展示および保管のため緊急に輸送または修理する必要があると認めるときは、寄託者と協議のうえ、博物館の負担で行うことができる。
- 7 館長は、寄託資料の保管について博物館の所蔵資料と同等に扱い、その責を負う。ただし、災害その他不可抗力によって汚損、破損および亡失等があった場合はこの限りではない。

(寄託の変更等)

第7条 館長は、寄託資料の全部を返還するときは、資料受託書と引き換えに文化財を引き渡し、その際、寄託者は受領書（様式5）を館長へ提出するものとする。

- 2 館長は、寄託資料の一部を返還するときは、寄託者から寄託一部解除願い書（様式6）の提出を受け、新たな資料受託書を発行するものとする。
- 3 館長は、寄託者が相続または譲渡等により変更となり、かつ引き続き寄託を希望する場合は、新寄託者から寄託者変更届（様式7）の提出を受けるものとする。また寄託者の住所が変更となった場合も寄託者変更届の提出を受けるものとする。
- 4 上記1項から3項までの届出を受けた場合は、仙台市博物館寄託台帳を更新し管理するものとする。
- 5 寄託資料の特別利用および展覧会等への一時貸出については、それを行おうとする者が寄託者の承諾を得たうえで、必要な手続きを行わなければ

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書（様式8）を発行し、資料借用書の控えを保管する。

- 2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。
- 3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。
- 4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

- 2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書（様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者（以下「借用者」という。）の定めるもの）を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登載するものとする。
- 3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。

4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。

5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書（様式10）の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等（フィルム、電子データ、映像を含む）の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書（様式11）の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書（様式12）を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度(以下「制度」という。)の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
(設置目的)

第2条 仙台市博物館(以下「博物館」という。)は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」(以下「メンバー」という。)と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」(以下「申込書」という。)により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。

ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日改正)

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中に入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行、仙台市博物館開館
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年 3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
24年 1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ「世界の記憶」に認定
26年12月～27年 2月	空気熱交換機改修工事（1期）

27年9月～28年2月	空気熱交換機改修工事（2期）
29年1～3月	空調設備改修工事（1期）
30年1～3月	空調設備改修工事（2期）
令和2年1～3月	冷温水循環ポンプ改修工事・受変電設備更新工事
3年3月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）設計完了
10月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）着工
6年3月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）完了

仙台市博物館年報

第50・51号 令和4・5年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印刷 株式会社孔栄社
仙台市青葉区立町16-13
Tel.022(262)4545

令和6年8月30日発行
©Sendai City Museum 2024

再生紙を使用しています